北海道ふるさと会連合会会報

2026年

No.44

発行者　北海道ふるさと会連合会
編　集　広　報　部　会
発行日　令和8年10月16日

事務局 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17（北海道東京事務所内） TEL・FAX 03-3592-0122

E-mail：dosanko197@furusatokai.jp



美唄から望む 冬の樺戸連山

美唄では毎年降る雪を資源に変える事業に取り組んでいる

雪の美唄で雪うなぎ

今年の5月、これまで難しいとされてきた「鰻」の完全養殖の方法が見つかり、より安く成育できるようになったと、世間を賑わせました。

このニュース、実は、美唄市につながる可能性があるのです。

美唄市では近年、鰻の陸上養殖に取り組んでいます。

その名も「雪うなぎ」。

毎年降る大量の雪を使って、サーバーの集積施設であるデータセンターを冷やす実験を続けています。

2～3月の密度が高くなった雪で小山を作り、木のチップで覆うと、解けるスピードが大きく抑えられ、秋ごろまで残ります。

徐々に解ける雪の冷たさを利用するこの方法は、電気式の大型クーラーに比べ、電気代を10分の1相当に圧縮できます。その施設から排気される熱を、鰻の養殖施設に送り、水槽を温めるのです。

安定した熱とバランスを考えた餌によって、通常よりも早く、大きく育てることができます。

食べるのは、少し先になりますが、北海道で唯一のうなぎの陸上養殖。「雪＝白いダイヤ」は、鰻をさらに輝かせ、美唄の希望の光になるでしょう。



新たに建設される本格的な養殖棟



美唄で進む鰻養殖

目次

今こそ、「絆」「信頼」「安定」を一層深め飛躍する北海道ふるさと会連合会を目指そう
会長　三井　照夫・・・3
加盟企業様・・・3
知事メッセージ
北海道知事　鈴木　直道・・・4
令和8年新年交礼会・・・4
第49回総会・懇親会開催・・・5
14回親睦ゴルフ大会
（令和8年春のゴルフ大会）・・・5
第15回親睦ゴルフ大会・・・5
2025秋のジンギスカン大会・・・6
春のジンギスカン大会・・・6
第4回親睦ボウリング大会・・・7
組織図・・・8
名刺広告のご案内・・・9～12
産直フェア・・・13～15
北海道地図（加盟ふるさと会）・・・16～17
北海道森町会・・・20
北海道福島会・・・20
東京木古内会・・・21
東京せたな会・・・21
東京ふるさと岩内会・・・22
東京ニセコ会・・・22
東京余市会・・・23
東京小樽会・・・23
東京とまこまい会・・・24
東京登別げんきかい・・・24
神奈川県北海道道人会・・・25
東京栗山会・・・26
東京砂川会・・・26
東京滝川会・・・27
東京秩父別会・・・27
東京美唄会・・・28
東京ふるさと北見会・・・28
東京稚内会・・・29
東京旭川会・・・29
東京下川会・・・30
東京東神楽会・・・30
東京ふらの会・・・31
東京十勝浦幌会・・・31
東京広尾会・・・32
東京幕別会・・・32
東京標津会・・・33
東京中標津会・・・33
東京・別海ふるさと会・・・34
東京らうす会・・・34
役員ＯＢ会・・・35～37
編集後記・・・40

協賛広告のご紹介（19社）

松尾ジンギスカン・・・6
北海道電力・・・18
ラムラ・・・19
熊谷工業・・・21
北洋銀行・・・22
赤坂令和ＭＵＳＩＣ・・・24
八千代商会・・・24
北海道フーディスト・・・26
双文社・・・27
安井法律事務所・・・30
北海道銀行・・・34
すずらん・・・36
どうなんｄｅ～ｓ・・・37
北海道福島会・・・37
雪印メグミルク・・・38
アルカディア市ヶ谷・・・38
ようこそ美しき唄のまちへ・・・39
北海道どさんこプラザ・・・40
サッポロビール・・・40



今こそ、「絆」「信頼」「安定」を一層深め飛躍する北海道ふるさと会連合会を目指そう

会長　三井照夫（東京美唄会）

今年は酷暑、地震など、自然の猛威にさらされた年となりました。会員の皆様、関係者の皆様方におかれましては御壮健でお過ごしのことと拝察いたします。また日頃より当連合会の運営に対して、格別なる御支援、御協力を賜わり厚く御礼と感謝を申し上げます。

私は昨年の総会において会長に就任し、最初に考えたのは、基本であります「絆」「信頼」「安定」の信念を持ってスタートしようと、新理事体制のもとで、一年半が経過しました。振り返ってみますと、全てが道半ばです。一歩でも前進するためには、総務、事業、産直、広報の4部会に事務局を加え、今一度、会員と関係企業者の皆様との親睦と交流を強める事で絆と信頼が深まります。

活性化に向けて、今迄おろそかにしたとして考えられる未加入ふるさと会、未加入企業の加入促進に全力を注ぎ収入の増に期待が望める。令和6年、道庁、倶楽部、連合会の3者が北海道応援の為、連携する事に合意しました。連合会最大のイベントである「北海道産直フェアイン代々木」。今年は記念すべき30回目の開催を迎えます。初めて道庁が応援していただくこととなり、勇気と力をもらいました。その心には連合会が日頃から北海道のために、首都圏での頑張っている姿を認識いただき、応援に結びついたのではと考えています。

魅力のある北海道を愛する人、思い出が沢山ある人は大勢おります。これからの連合会はその人達のためにも知恵を出し、財源の確保に尽くし、経費の見直しと節減に力を入れ、余裕のある財政状態を作り、安定した、運営が続けられる。それにより自ずと、存在感が高まり、知名度はアップすると考えます。私も微力ではありますが表題に掲げた基本理念に、誠心誠意取り組んでまいります。皆様方の温かい御支援と御協力を切にお願い申し上げます。

最後になりますが、各ふるさと会の皆様、市町村の皆様、北海道関係企業皆様の更なる発展と御健勝、御多幸を心よりご祈念を申し上げ挨拶とさせていただきます。

加盟企業様

サッポロビール株式会社
広域法人本部　法人統括部
法人営業部長　早川大輔

株式会社 AIRDO
代表取締役社長　鈴木貴博

北海道新聞社　東京支社
支社長　仲谷正則

株式会社　マツオ（松尾ジンギスカン）
代表取締役　松尾吉洋

雪印メグミルク株式会社
秘書室長　坂田浩一郎

大和ハウス工業株式会社
北海道マンション事業部
販売事務所長
花輪武憲

株式会社 北見ハッカ通商
代表取締役　永田裕一

赤坂 令和MUSIC
店長　佐藤時美

株式会社 まるごと北海道
代表取締役　一宮弘典

北海道フードフロンテイア株式会社
代表取締役社長　齊藤太一

北海道電力株式会社
首都圏販売部
首都圏販売部長　長谷川静一



知事メッセージ

北海道知事　鈴木直道

三井会長をはじめ、北海道ふるさと会連合会並びに各ふるさと会の皆様におかれましては、日頃より道政の推進に格別のご理解とご支援を賜りますとともに、ふるさと北海道の発展に多大なるお力添えをいただき、厚くお礼を申し上げます。

本道では、エネルギー、デジタル、食といった北海道が優位性を持つ分野において、地域の皆様とともに様々な取組を進めてきており、量産化が来年に迫る次世代半導体プロジェクトや洋上風力発電の「促進区域」指定など、その成果が具体的な形となって現れてきており、今後数年間、さらなる大きなプロジェクトの展開も見込まれています。

また、不安定な国際情勢などを背景に、食料の安定供給に対する意識が高まる中、国の計画において、「主要穀物などの主産地」と位置づけられた北海道への期待が高まっており、国が進めるエネルギー、経済、食料の安全保障において、北海道は大きな役割を果たしています。加えて、今年度の骨太の方針において、「地域未来戦略の推進に向けて重要な役割を担う北海道開発」と全国で唯一明記されました。「GX戦略地域制度」では、北海道から全国最多の9市町が全道各地より有望地域に選定され、北海道における「AI農業特区」や「宇宙特区」の創設に向けた検討が加速されるなど北海道の重要性はますます高まっています。

国において検討が進む、首都中枢機能の代替や多極分散型経済圏形成の中核となる「副首都」については、北海道は適地であると考えており、その実現に向け、検討、準備を加速しているところです。

また、今年はこれまでに、大変うれしいニュースもありました。長年の道民の悲願でありました本道と北米を結ぶ初めての直行便が、本年12月から就航することが発表されました。米国・サンフランシスコ線とカナダ・バンクーバー路線をあわせると北米と週6往復でつながることから、ビジネスや観光をはじめ、様々な分野における交流拡大が期待されます。

さらに、幕別町出身の高木美帆さんに国民栄誉賞が授与されました。冬季オリンピックの女子選手では、初めての受賞となり多くの道民の皆様に勇気と感動を与え、本道のアスリートの方々の大きな励みとなったものと思います。

本道は、人口減少をはじめ、様々な課題に直面していますが、北海道という挑戦の大地で生まれ、成長に向けて灯してきた希望の種火は着実に育ってきています。道としましては、本道の強みを活かし、北海道を新たなステージに押し上げてまいりますので、今後とも、皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。結びに、北海道ふるさと会連合会並びに道内各地のふるさと会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

令和8年新年交礼会

総務部会

令和8年1月17日（土）私学会館アルカディア市ヶ谷にて開催。ご来賓・加盟企業・協賛団体12社計15名、ふるさと会52会、計130名、合計145名の参加者が集い、盛大に開催されました。開会に先立ちオープニングで令和7年度の連合会の活動記録が上映されました。

三井会長の挨拶に続いて、ご来賓代表の北海道東京事務所大野所長のご挨拶と北海道倶楽部大久保理事長による乾杯のご発声で歓談となりました。各界の方々から祝辞を頂き、北見出身の俳優・歌手の沢田亜矢子さんの歌謡ショー、新規加盟ふるさと会の東京鹿追会、新規加盟企業の北海道電力様の紹介があり、引き続いて恒例のお楽しみ抽選会がありました。企業様8社、ふるさと会43会より多大の豪華な景品を賜り厚く御礼申し上げます。そして出席者全員による「ふるさと」の大合唱で和気あいあいの3時間半に及ぶ新年交礼会が、翌年の再会を誓って散会となりました。



第49回総会・懇親会開催

総務部会

令和8年4月25日（土）日本教育会館の喜山倶楽部にて、来賓・加盟企業・各ふるさと会会員計90余名のもと盛大に開催されました。昨年4月より三井会長が就任し初の総会となりました。会長の挨拶後に議長として三井氏を選出し、第1号議案の令和7年度の事業報告を各部会長から、第2号議案の収支決算報告を奥山事務局長から、第3号議案の監査報告を新家監事から報告があり又第4号議案の令和8年度事業計画（案）を各部会長から第5号議案の令和8年度収支予算（案）を奥山事務局長からそれぞれ提案説明あり、質疑の後、賛成多数の一括承認を得て総会は終了。その後、別室の懇親会場へ移動、懇親会は北海道東京事務所の大野所長のご挨拶、加盟企業代表のサッポロビール（株）柿崎様の乾杯で始まりました。新規加入ふるさと会の鹿追会紹介、新理事久村様の紹介始め、来賓・加盟企業の皆様及び各ふるさと会との親睦を深め、和やかな歓談の後、奥山副会長の閉会の挨拶で散会となりました。懇親会の飲み物提供として秩父別会からトマトジュース1ケースありました。



第14回親睦ゴルフ大会（令和8年春のゴルフ大会）

事業部会　岩村昌治

場　所　ザ・インペリアルカントリークラブ（ＰＧＭ）
日　時　令和8年3月6日（金）
東8：45スタート
参加者　24名

天気に恵まれ24名の精鋭がアメリカンスタイルの林間コースに挑戦。
戦略性に富んだ古い米国のコースにみられる大地をえぐって取ったような形のバンカーがグリーン周りやフェアーウエイなどに１００か所以上配置されプレッシャーを与えている。
フェアーウエイの幅はゆったりとした広さでのびのびとティショットできる。
各テイグランドからはグリーンやバンカー池などハザードが見えるので攻略ルートが立てやすい。
今回も、当会の趣旨に則り　当たりはずれのあるペリア方式に又、ハンディキャップは上限無しのサバイバル競技方式です。
この度もご有志様からのご贈答品に感謝申し上げます。
参加者の皆様は大変喜んでおりました
総括に参加された皆様はプレイに熱中好スコアーに楽しそう懇親されとても有意義な時間を過ごされたと思います。

優　勝　重田親司（小樽会）
準優勝　岩村昌治（森町会）
３　位　須藤一成（別海会）
ＢＢ　吉田定次（道南会）
（敬称略）



第15回親睦ゴルフ大会

事業部会　岩村昌治

場　所　京カントリークラブ
日　時　令和8年9月4日（金）
9：43スタート
参加者　21名

優　勝　川崎勝秀（森町会）
準優勝　重田親司（小樽会）
３　位　斉藤克彦（小樽会）
ＢＢ　木内幸弘（遠別会）

沖縄付近滞留24号台風の余波を受け暴風雨を心配したが、曇空ながら快適なゴルフ日和になりました。戦略性に富みアメリカンスタイルのグリーン、フェアーウエイのアンジュレーション、点在する池を配した落とし場所の難しコースです。参加者は挑戦心の強い方ばかりで果敢に攻めていました。今回は当会の趣旨に則り、皆様チャンスの幸不幸を左右する新新ペア（ｏｕｔ、ｉｎ計11ホール隠しホール）ハンディ上限36のサバイバル。曇空にも清々しいはつらつとしたプレイーで、参加された皆様が素晴らしいスコアーで和やかな懇親会になりました。この度も御有志様からのご贈呈品に感謝申し上げます。



2025秋のジンギスカン大会

事業部会　岩村昌治

日時　11月1日（土）
場所　松尾ジンギスカン赤坂店

今回は3度目の秋の開催に各地にゆかりある皆様が40名の参加を頂き賑やかに飲み放題・食べ放題　昼間の宴でした。

高タンパクに低脂肪マトンにラムとハツそして羊肉つみれが有り「脂身と赤身のバランスが整った」もの。皆様それぞれ順序や形にとらわれず食していました。

ビールにお酒ワインとソフトドリンクをご賞味しながら談笑に花を咲かせ、笑い声に楽しそうに交流の場が広がっておりました。

我連合会の理念に基づき、素晴らしい交流と情報交換、今後も皆様の御理解を頂きこのイベントを続けられたら良いと思いました。

今回もたくさんのご贈呈品を頂きました。

御有志の皆様に感謝申し上げます。



春のジンギスカン大会

事業部会　岩村昌治

日時　2026年5月23日（土）
場所　松尾ジンギスカン赤坂店

低脂肪で柔らかい子羊ラム肉やマトン、ハツ、野菜、松尾様からのサッポロクラシックビールの特別ご提供もあり会場は79名による北海道一色の雰囲気。更に松尾様からのラム肉セットや北海道事務所様はじめ有志の心あるご贈呈品が提供され恒例の抽選会で大いに盛り上がり、初夏の赤坂の集いは大盛会となりました。

また秋の北海道の収穫祭時期に、ジンギスカン大会を企画しております。今回の大会にご参加下さいました皆様そして沢山のご贈呈品をご提供くださいました皆様に心から感謝を申し上げます。ご協力有難うございました。



松尾ジンギスカン　東京エリア5店舗展開中　店舗情報はこちらから▶



新宿三丁目店（74席）
東京都新宿区新宿3-5-3 高山ランド会館5F　TEL 03-3226-2989

赤坂店（121席）
東京都港区赤坂4-3-6 ヒューリック赤坂ーツ木通ビル81 TEL 03-3585-2989



銀座店（67席）
東京都中央区銀座5-9-5 チアーズ銀座2F　TEL 03-3572-2989



秋葉原店（70席）
東京都千代田区外神田1-18-19 BiTO AKIBA 5F　TEL 03-3255-2989



渋谷パルコ店（54席）
東京都渋谷区宇田川町15-1 渋谷パルコ7F　TEL 03-3461-2985

北海道ふるさと会様
限定クーポン
来店時・ご提示で

ご飲食代から
10% Off

※「北海道ふるさと会」会員様限定クーポンです。
※本券は「新宿三丁目店」「赤坂店」「銀座店」「秋葉原店」「渋谷パルコ店」でのみご利用可能です。※他券・割引券併用不可

回収印

北海道ふるさと会連合会
第4回親睦ボウリング大会

2026.8.22
事業部

チーム優勝 東京ふるさと北見会C
高橋邦政・曽我雄一・岡井和也・浅井茂行

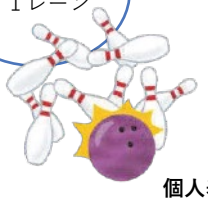


チームワーク最高でした！
１ゲーム目の後悔はあったものの、
ラッキーな仲間たちみんなで楽しく
頑張りました。

三井会長
大会挨拶



参加者８４名
２１レーン



個人優勝
笹森 誠さん
(北海道福島会B)



連日の猛暑の中涼しく快適なインドアで、老若男女が楽しく汗を流し大盛況。真夏の思い出となりました。
緊迫した２ゲームマッチ後、恒例の表彰式と懇親会が始まると、更に会場のボルテージも上昇し、親睦の輪の中和やかな素晴らしい懇親会となりました。
尚、各種景品をご提供いただいた皆様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。（事業部）

チーム表彰

優勝	東京ふるさと北見会C
準優勝	北海道福島会B
３位	東京美幌会A
４位	東京新得会
５位	東京事務所

個人表彰

優勝	笹森 誠	北海道福島会B
準優勝	高橋 邦政	東京ふるさと北見会C
３位	勢簇 加代子	東京ふるさと北見会E
４位	柳田 和子	東京美幌会B
５位	氏家 茂樹	東京十勝池田会
６位	吉田 定次	東京森町会
７位	小笠原 誠	東京事務所
８位	蜂谷 進	東京新得会
９位	曽我 雄一	東京ふるさと北見会C
10位	清水 一郎	東京美幌会A



参加者からのコメント

美幌会チーム
ストライクを１回は出したかった。残念！
スプリットが多かった。
毎回、楽しくありがとうございます。



10年ぶりにボウリングをしました。
昔のように体は動きませんでしたが
楽しく過ごすことができました。
ぜひまた参加したいと思います。



東京事務所
若い世代の活躍、毎回楽しみです。次回も期待しています！
（会長）



東京札幌会 道免
４０年ぶりのラジオ体操からスタートしたボウリング大会最高でした！

北海道福島会
初めて２ゲームでの参加です。
これを機会に当会の競技人口を増していきたいと思います。



楽しいひと時でした！
外れ券なしで景品頂きました。
ありがとうございました。



東京ふるさと北見会
スコアはともかく少し汗をかいて楽しみました。
盛会に行われて、大変良かったです。
会場の収容力もありますが、ますます更なる盛り上がりを期待しています。

皆さんの和気あいあいの
コミュニケーション、
なかなかうまくなりませんが、
参加することに意味があると
思っております。



皆さんと楽しく
ボウリングができて
この会が待ち遠しいです。





半世紀ぶりのボウリングでした。同じボール（玉）でもラグビーボールの方が優しい!!
（別海KS）

初めて参加させていただきました。楽しいボウリング大会でした。好きなゴルフとは勝手が違いますが、力を抜いて投げる点では共通していると感じました。



東京ふるさと北見会　二俣
プレイに円熟味は増すもスコアはついて来ず！
さすがにプロのいるスポーツ!!





事業部実行委員
岩村事業部長・成田・奥薗・海老沢・大田
皆さんのご参加、ありがとうございました。
ご提供に感謝いたします。

美唄会
三井会長ファミリー６名でのご参加
おじいちゃん（会長）の凄さに気づかされました（笑）
ふるさと会、最高です（あすか・ゆりか）

東京ふるさと北見会は今回２４名６チームで参加させていただきました。
ボウリングはふるさと会活動には最高の行事だと感じます。

令和8年10月1日現在

北海道ふるさと会連合会 令和8年 組織図

総　会

監事 堀川 哲夫(白老)
監事 新家 鶴男(別海)

役員会（会長・副会長・事務局長）

会　長(会務全般統括)	三井 照夫 (美唄)
副会長(総務部会管掌)	田所 政則 (天塩)
副会長(事業部会管掌)	岩村 昌治 (森)
副会長(産直部会管掌)	今野 利春 (滝川)
副会長(広報部会管掌)	秋山 憲一 (新得)
副会長(事務局長・HP管掌)	奥山 範夫 (恵庭)

顧　問 高橋 照美 (旭川)
顧　問 新家 鶴男 (別海)
相談役 五十嵐 邦男 (足寄)
相談役 金曽 裕一 (札幌)

理　事　会

(三役・理事・監事)
(顧問・相談役)

ホームページ委員会

委員長	奥山 範夫	(恵庭)
委員	池田 喜久雄	(北斗)
委員	成田 芳生	(小樽)
委員	今野 利春	(滝川)
委員	宮高　隆	(登別)
委員	金曽 裕一	(札幌)
専門委員	山中 茂樹	(札幌)

事務局

事務局長	奥山 範夫	(恵庭)
局　員	森 恵理子	(福島)

総務部会

部会長	田所 政則	(天塩)
次長	小野 保良	(美唄)
理事	渡辺 由紀子	(北見)
理事	古谷 美津子	(帯広)
理事	池田 喜久雄	(北斗)
理事	富岡 信夫	(道南)
理事	相馬　功	(秩父別)

事業部会

部会長	岩村 昌治	(森)
次長	成田 芳生	(小樽)
理事	海老澤 美智子	(旭川)
理事	大田 克好	(池田)
理事	奥園 恵美子	(札幌)
理事	角田 秀生	(苫小牧)

産直部会

部会長	今野 利春	(滝川)
次長	笹森 博昭	(福島)
理事AD	下田 和房	(岩内)
理事	足利　稔	(サロマ)
理事	三宅 雅久	(斜里)
理事	須藤 一成	(別海)
理事	菊地 淑子	(東神楽)
理事	久村 伸一	(共和)

広報部会

部会長	秋山 憲一	(新得)
次長	宮高　隆	(登別)
理事	勢旗 加代子	(北見)
理事	熊谷 譲	(木古内)
理事	藤井 俊文	(中標津)
部員	山村 正広	(足寄)
部員	臼井 洋二	(別海)

諸会・関連団体

未加入ふるさと会加入推進委員会
企業会員懇親会
公益社団法人 北海道倶楽部
公益財団法人 北海道在京学生後援会
英国 北海道人会

企業会員（敬称略）

(株) AIR DO
(株) 北見薄荷通商
サッポロビール(株)
大和ハウス工業(株) 北海道支社
(株) 北洋銀行 東京支店
(株) 北海道銀行 東京支店
(株) 北海道新聞社 東京支社
北海道電力(株)
北海道フードフロンティア(株)
(株) マツオ赤坂店
(株) まるごと北海道
雪印メグミルク(株)
赤坂令和MUSIC

役員ＯＢ会

世話役代表	森 隆信	(遠別)
世話役	高橋 郁夫	(伊達)
世話役	鈴木 武昌	(美深)
世話役	五十嵐 邦男	(足寄)
世話役	新井 冨士雄	(遠軽)

名刺広告のご案内

（五十音順で掲載しました）

東京旭川会

会長 荒川 繁
副会長 海老澤美智子
副会長 小松仁志
副会長 並河典子
副会長 山原正博
副会長 東出康宏
事務局長 高木宏明
会計幹事 樋口 巖
顧問 高橋照美
顧問 加藤桂子
相談役 朝比奈康博
相談役 西谷内力世
相談役 山口哲男
顧問 五十嵐邦男

東京あしょろ会

会長 湯浅徳弥
副会長 山村正広
事務局長 久慈優子
顧問 五十嵐邦男

東京あぶた・とうや湖会

会長 篠原 博
副会長 小笠原義則
副会長 永山文男
監事 三浦康明
事務局長 齋藤 齋

東京ふる里岩内会

会長 松代洋子
副会長兼事務局長 髙松庫雄
副会長 今 慶範
副会長 下田和房

東京浦河会

会長 中井保郎
副会長兼幹事長 中村達彦
役員一同

東京恵庭ふるさと会

会長 奥山範夫
副会長 本田正則
理事 坂上みどり
理事 大友喜則

東京遠別会

監事 田窪 稔
会長 高橋二三次
副会長・幹事長 岸 満幸
事務局長 服部増義
顧問 森 隆信

東京帯広会

会長 田中 稔
副会長 草山和彦
副会長 影山晴久
副会長 桐生詩子

東京木古内会

会長 熊谷 譲
理事 役員一同
事務局 太田本気

東京ふるさと北見会

会長 井戸理恵子
副会長 二俣正光
副会長 鈴木富雄
副会長 勢籏加代子
副会長 古賀恵美子
事務局長 鈴木哲弘

東京栗山会

事務局次長 中橋雅人
会長 渡辺貞
幹事長 佐藤雅樹

東京札幌会

副会長 米村猛
会長 秦 豊昭

東京サロマ会

幹事長 道見由貴
副会長 平瀬省三
副会長 浦島外吉
副会長 渡辺秀親
会長 足利 稔

東京下川会

事務局 西沢孝洋
副会長 宇佐貴雄
副会長・事務局長 西川稔彦
会長 宮澤國雄

東京白老会

会長 橋本聖子
副会長 堀川哲夫

副会長 鈴森二朗
理事 正宗卓
理事 牧千恵子
理事 小松俊文
理事 村上幸博
理事 野本雅起
理事 吉田光夫
理事 相木正幸
監事 山手章
監事 林敦

東京ふるさと新得会

会長 貴戸衛
副会長 是村恭子
副会長 土屋清孝
事務局長 寄木善文

東京滝川会

会長 加藤晃章
副会長 栗原茂実
副会長 黒沼正弘
副会長 笹川祐子
副会長 田湯智康
副会長 月館聡成

東京秩父別会

会長 相馬功
副会長 桑原正巳
副会長 寿埼裕征
幹事長 飯島洋治
相談役 大西倫利

東京天塩会

会長 田所政則
事務局長 越智恒子

東京当麻会

顧問 多田健治
会長 高島芳美
副会長 岡田宏陽
理事 山根和明
理事 片原和明
会計 天野利美代
監事 荻澤湖
監事 松尾鉄之

東京十勝池田会

会長 福田和之
副会長 羽磨和世

副会長 松本正三
副会長兼事務局長 太田克好
副会長 倉島進
副会長 田邊誠
会計監査 円道敏秀
会計監査 伊藤澄夫
事務局長補佐 村井利津夫

東京とまこまい会

会長 関口厚志
副会長 遠藤直子
副会長 大我晴敏
副会長 篠原和行

東京中標津会

会長 藤井俊文
副会長 竹嶋博行
副会長 村泰子
副会長 竹下静子
副会長 飯塚澄子
副会長 須藤博
副会長 壽見玲子
幹事長 加藤武雄

東京ニセコ会

会長 菅原信明
副会長 内藤則子
副会長 小野亮子
副会長 柳田征男

東京登別げんきかい

会長 川西京也
副会長 宮崎緑
副会長 宮高隆
副会長 武藤眞幸
事務局長 笠原龍司
事務局次長 川上紀
顧問 竹村勝彦
顧問 大津信二
顧問 門山泰明

東京美瑛会

名誉会長 大瀧良雄
名誉会長 菊池幸
会長 古本勝美
副会長 飯塚和子
副会長 溝手修實
副会長 下觸忠雄

副会長　大場省介
副会長　稲場仁
副会長　舟木茂
理事　明石憲行
理事　前田晃
理事　瀧栄市
理事　マーク・シュミッヒ
理事　葉梨かほる
理事　別所直哉
理事　玉井久貴
理事　宮澤亮
理事　栗山悟
理事　南世織
理事　菅原サイ子
理事　赤沼真左子
理事　中島豪
理事　水野弘敏
理事　福山恒昭
事務局長　松島伸久

ひがしかわ東京会

会長　荒富夫
副会長　大城幣次郎

副会長・事務局長　河治順一
副会長・事務局　田中恵子
副会長　依田真治
理事・事務局　吉田悟司

東京東神楽会

会長　安井規雄
副会長　増田晴紀
会長代理　松永明博
事務局長　石井吉典
幹事　大井忠雄
幹事　菊地淑子
幹事　山内萌
幹事　佐藤大輔
幹事　館小路公士
幹事　盛永健規
監事　安井康雄
名誉顧問　佐藤栄利子

東京美唄会

名誉会長　三井照夫
会長　鴛海徹
副会長　堀野眞孝
副会長　大石章子

副会長　小野保良
事務局長　林芳雄
事務局　後藤潔
事務局　鈴木正行
幹事　砂長谷和子
幹事　大室政博
幹事　今村和磨
幹事　谷口有史
幹事　西田彩香
監事　田中幸子
監事　石倉精三
顧問　吉見昭徳
顧問　菊地元一

東京美幌会

顧問　八嶋忠雄
会長　我妻誠
副会長　龍瀧浩三
副会長　漆原康夫
理事　山口幸造
理事　川尻英雄
理事　矢野茂
理事　鶴野伸也

理事　柳田和子
名誉会長　土谷祐大
会長　岡田金一
副会長　山村享
副会長　山本耕治
事務局長　吉田正己
監事　鶴巻憲祐

東京広尾会

会長　倉山昭蔵
副会長　小柳明雄
副会長・幹事長　川村留美子

顧問（福島町町長）　鳴海清春
相談役　角谷和雄
相談役　花田善春
会長　鎌田博喜
副会長　森恵理子
幹事長　笹森博昭
副幹事長　小林正巳
副幹事長　對馬昭三
副幹事長　山登正文

北海道福島会

幹事 藤原美恵
幹事 長島邦子
会計 田中美奈子
会計 出羽拓也
会計監事 木田正子
会計監事 飯塚昭乃
福島町企画課 大山佑華

東京別海・ふるさと会

名誉会長 新家鶴男
会長 臼井洋二
副会長 小柳百合子
副会長 竹澤勇子
副会長 須藤一成
副会長兼事務局長 金子昭雄
会計幹事 信田久美子
幹事 響章正
幹事 楠本禎子
幹事 三田久美子
幹事 工藤登美
幹事 立石淳子
幹事 服部芳
幹事 奥村久美子

幹事 新家早智子
会計監査 早坂正三
会計監査 宇治康子
相談役 佐藤功

東京室蘭会

顧問 沢邦彦
顧問 塚田尚史
顧問 白﨑順
会長 山田和彦
副会長 米谷寿明
副会長 八百坂仁
副会長 石堂正信
副会長 木村悟
副会長 五十嵐仁
副会長 眞柳篤史
副会長兼事務局長 小笠原弘志
監事 古起祐子
監事 東村誠司

東京湧別会

会長 後藤義英
副会長 島崎克秀
副会長 掘江馨

事務局長 渡辺真知子
会計局長 福嶋宏秋

東京稚内会

名誉会長 小坂輝雄
会長 葛西邦治
副会長 根生道明
副会長 小笠原健悦

北海道ふるさと会連合会

役員OB会

世話役代表 森隆信
世話役 鈴木武昌
世話役 高橋郁夫
世話役 五十嵐邦男
世話役 新井富士雄


30th ANNIVERSARY
AIR DO
豪華景品があたる!
大抽選会
開催
北海道
産直フェア
つちふまズ
10月3日(土)14:40～15:10
よしもとお笑いステージ開催
同時開催
国内最大級の屋外型
北海道物産イベント
第36回 北海道フェアin代々木
ザ・北海食道
The Road of Hokkai-Foods
開催期間
2026.10.1(木)～10.4(日)
10:00～18:00
(飲食ブースは19:00まで。ただし、最終日は18:00まで)
会　場
代々木公園B地区イベント広場
ふるさと会連合会ゾーン
(JR山手線原宿駅、東京メトロ千代田線・副都心線明治神宮前(原宿駅)、東京メトロ千代田線代々木公園駅、小田急線代々木八幡駅より徒歩10分)
明治神宮
小田急線
代々木八幡駅
代々木公園
JR
原宿駅
千代田線
代々木公園駅
千代田線
明治神宮前駅
陸上競技場
サッカー場
代々木競技場
NHKホール
渋谷
代々木公園B地区イベント広場
ふるさと会連合会ゾーン
【主催】北海道フェアin代々木実行委員会　【後援】北海道　(公社)北海道倶楽部
【運営】北海道ふるさと会連合会　【協力】経済産業省北海道経済産業局



F17　東京幕別会



F21　東京ふるさと北見会



F24　東京ふる里岩内会



F18　東京あしょろ会


F22　東京ふるさと共和会



F25　北海道経済産業局

ふるさと観光PR協賛　ふるさと会

東京旭川会　大雪山を源流とする川のまち・旭川
東京あしょろ会　大空と大地のふる　あしょろ
東京十勝池田会
「空は晴天、笑顔満点。池田ではじまるサニーデイズ」
東京ふる里岩内会　岩内に行こう　温泉と美味しい魚を
東京浦河会　丘と海の『まきば』浦河町
東京恵庭ふるさと会
恵みの庭を人がつながる北の大地から
東京小樽会　街が静かに語りはじめる
東京帯広会　「あおあお　ひろびろ　いきいき　おびひろ」
東京ふるさと北見会
時代は「企業誘致」から「人間誘致」へ　北見市
東京ふるさと共和会　らいでんメロンのふるさと共和町
東京栗山会
人がいい　自然がいい　住み心地がいい　栗山町
北海道経済産業局
地域ブランドを守る『地域団体商標』北海道経済産業局
東京サロマ会
サロマ湖とオホーツク海に恵まれた　佐呂間町
東京下川会　手延べ麺　日本最北の町
東京ふるさと斜里会　世界自然遺産「知床」のまち　斜里町
東京白老会　白老牛とウポポイに出会う町　しらおい
東京ふるさと新得会　十勝の玄関　新得町（狩勝峠）
東京せたな会　北海道本土最西端の町・せたな町
東京滝川会　ちょうどいい田舎　滝川
東京秩父別会　鐘のなるまち　ちっぷべつ
東京天塩会　「手塩にかけた“天塩”の味覚」
北海道道南会
Oh！ Hakodate！ Go！すれば、Oh！がある。
東京中標津会
北海道の東の空と食の玄関口　「なかしべつ」
東京ニセコ会　環境のまち「小さな世界都市ニセコ」
東京根室会　朝日にいちばん近い街　根室
東京美瑛会
丘のまち美瑛「ベスト・ツーリズム・ビレッジ」
国連世界観光機関認定
東京・東神楽会　『花の町　ひがしかぐら』
ひがしかわ東京会　大雪山の恵みとともに暮らす町
東京美唄会　皆がときめく未来を語るまち　美唄
東京広尾会　海・山・川が織りなすサンタランド　ひろお
北海道福島会　横綱の里　海峡の街　北海道福島町
東京・別海ふるさと会
～海の青さと緑の大地～地平線を感じに来ないか別海町
東京本別会　日本一の豆のまち　ほんべつ
東京幕別会　パークゴルフとナウマン象のまち　幕別町
東京三笠会　魅力ある食にあふれるまち三笠
北海道森町会　内浦湾と駒ケ岳、青と緑が巡り逢う　森町
東京湧別会　人と自然が輝くオホーツクのまち　湧別町
東京らうす会　世界自然遺産の町　知床・羅臼町
東京稚内会　「メジャー級の海鮮宝庫・稚内」


F26　北海道東京事務所


F27　上川総合振興局・北の森づくり専門学校



F19　東京根室会



F28　連合会本部①



F20　東京三笠会



F23　東京らうす会


F28　連合会本部②



F1　東京本別会



F7　東京湧別会


F13　東京東神楽会



F2　東京標津会


F8　東京美唄会



F14　東京ニセコ会



F3　東京広尾会



F9　北海道フーディスト



F4　東京稚内会


F10　東京・別海ふるさと会



F5　ひがしかわ東京会



F11　東京浦河会



F15　東京秩父別会



F6　東京栗山会



F12　北海道福島会



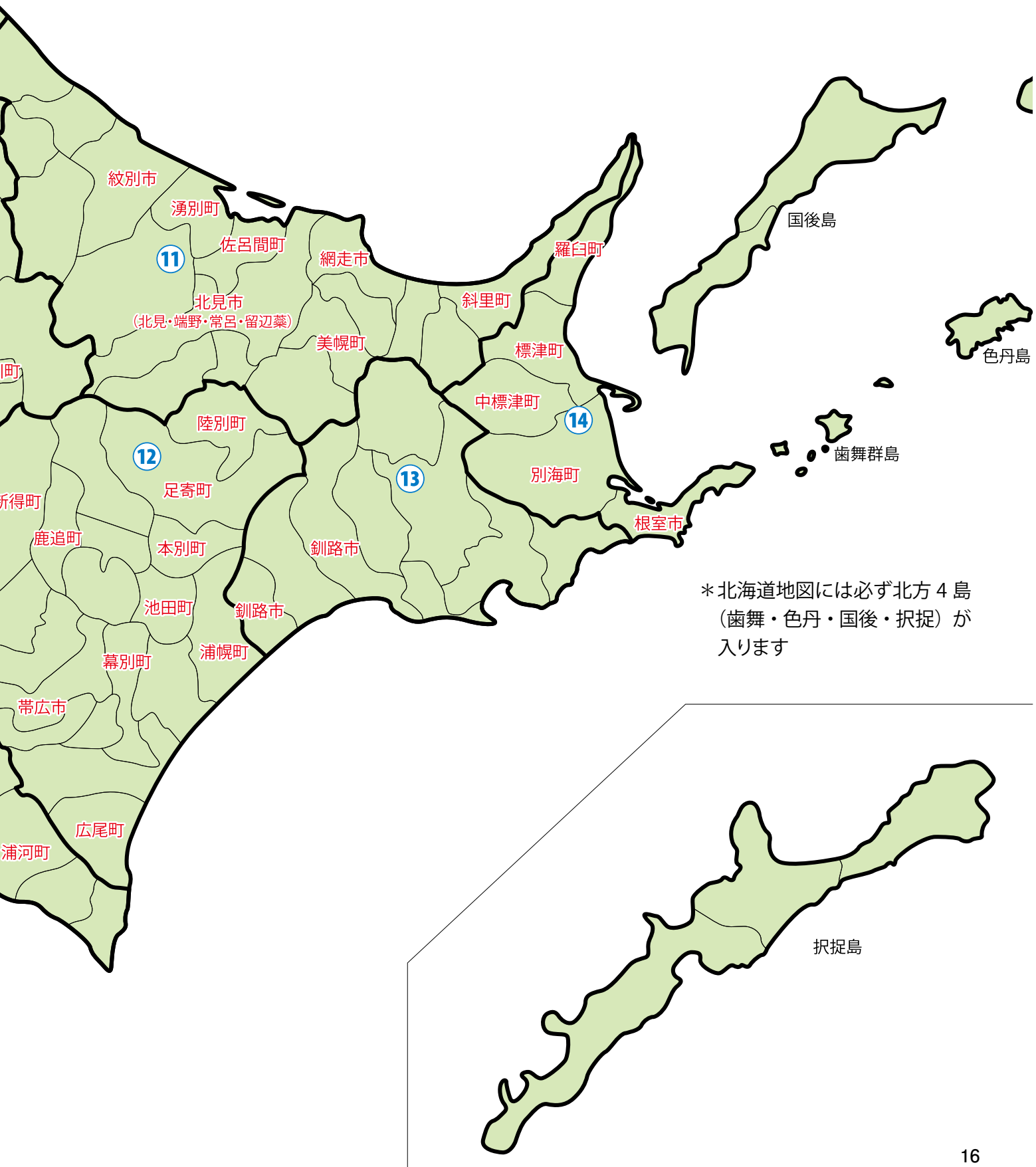
F16　東京中標津会

協賛企業（順不同）

株式会社北海道銀行　どさんこバンク
株式会社北洋銀行
Make the HOKKAIDO Way
株式会社北海道新聞社
あなたとつくる北海道の未来
北海道電力株式会社
なまらいいべや！ 首都圏の電気
株式会社マツオ
いつも笑顔の真ん中　松尾ジンギスカン
雪印メグミルク株式会社
Love Earth. Love Life
サッポロビール株式会社
北海道はサッポロビール★
大和ハウス工業株式会社
北海道の不動産にお困りでしたら、
ダイワハウスがサポート致します。
株式会社北見ハッカ通商
心なごむ　爽やかな北のかおり
赤坂令和 MUSIC
稚内出身のママがいるお店♪

北海道ふるさと会連合会加盟の市町名

＊他に「神奈川県・北海道道人会」があります。

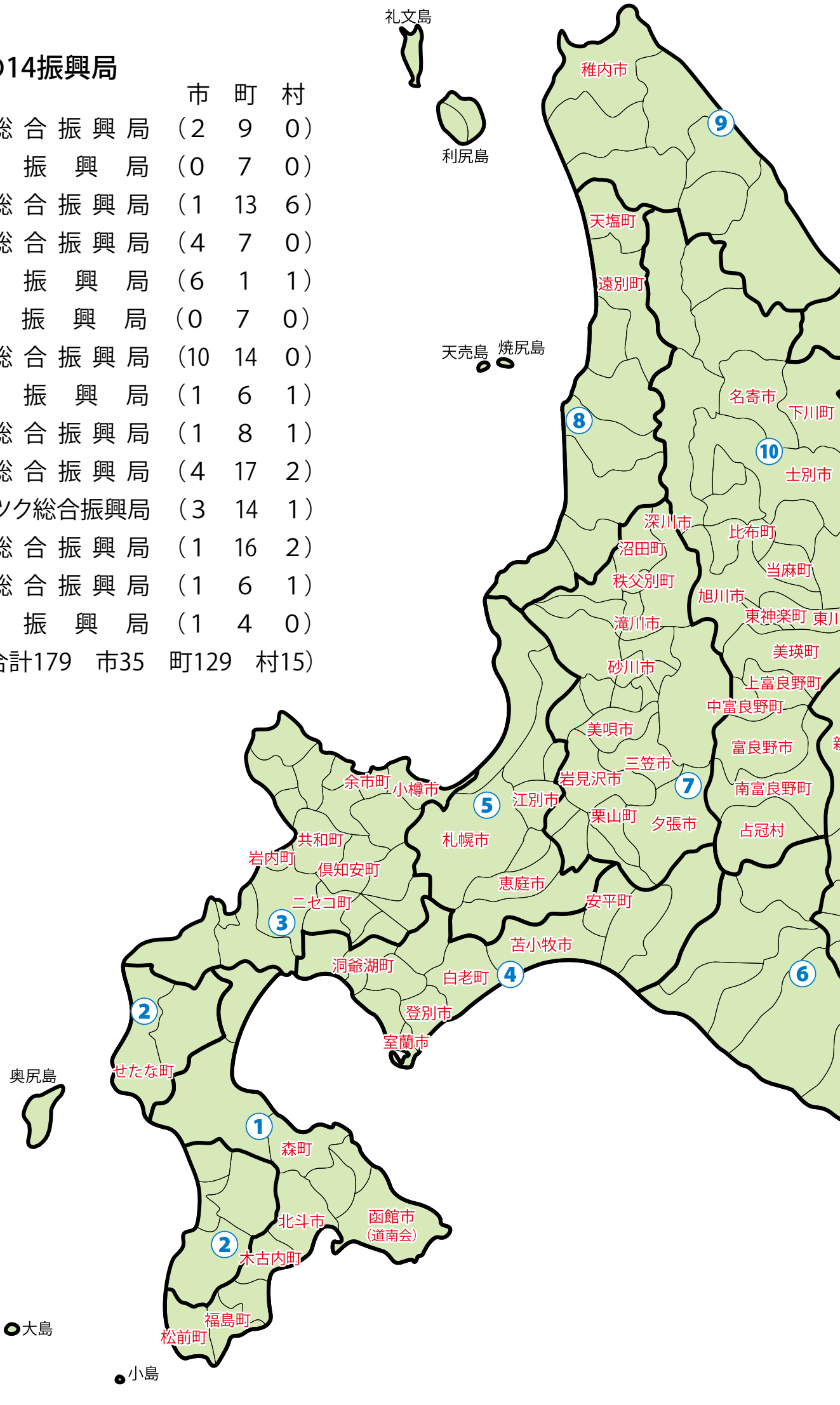


＊北海道地図には必ず北方４島（歯舞・色丹・国後・択捉）が入ります

北海道の14振興局

	市	町	村
①渡島総合振興局	（2	9	0）
②檜山振興局	（0	7	0）
③後志総合振興局	（1	13	6）
④胆振総合振興局	（4	7	0）
⑤石狩振興局	（6	1	1）
⑥日高振興局	（0	7	0）
⑦空知総合振興局	（10	14	0）
⑧留萌振興局	（1	6	1）
⑨宗谷総合振興局	（1	8	1）
⑩上川総合振興局	（4	17	2）
⑪オホーツク総合振興局	（3	14	1）
⑫十勝総合振興局	（1	16	2）
⑬釧路総合振興局	（1	6	1）
⑭根室振興局	（1	4	0）

（合計179　市35　町129　村15）





知ってましたか？

首都圏でもほくでんの電気が使えるんですよ！

北海道が大好きなお客さまになまらおすすめ！

イチオシの電気料金プラン！

北海道ベーシックプラン

HOKKAIDO BASIC PLAN



※イラストはイメージです。



電気料金プランの詳細・お申し込みはこちら！

プロモーションコード **1392**

お申し込みフォームのプロモーションコード欄へは左記の数字を忘れずにご入力ください。

ほくでん首都圏お問い合わせ窓口 **0570-028-855**

平日9:00～17:00
年末年始、5月1日を除く

北海道電力株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内１丁目６−５ 丸の内北口ビル3階

Ramla

“ダイレクト産食”で北海道を応援!



季節により食材は変わります。

ご予約・お問い合わせは
各店舗までお申し付けください

「北海道にいってみたい」。そんな気持ちを呼び起こす
北海道料理専門店 公式HP

食材の宝庫と言われる北海道。
海の恵みをたっぷりと受けて育った
ホタテやホッケ、ジューシー感が堪らない蟹、
広大で豊穣の大地で獲れたジャガイモ・・・
料理に合わせるのは、今注目の北海道ワインや地酒。
北海道を愛するわたしたちがおすすめする
なまら美味しい料理とお酒でお迎えします。

大地の恵み 北海道
大地の恵み 北海道 HOKKAIDO DINING
■永田町店
[北海道東京事務所横]
TEL 03-5501-4355
■新宿東宝ビル店
TEL 03-6205-6458

北海道バル 海
北海道バル 海 UMI
■グランスタ 八重洲店
TEL 03-5224-4447

北海道はでっかい道
オホーツクの恵み
[北海道はでっかい道]
■西船橋店
TEL 047-435-5955
[オホーツクの恵み 湧別町]
■市ヶ谷店
TEL 03-3239-3941
[オホーツクの恵み 網走市]
■内幸町店
TEL 03-6273-3998

わたしたちは北海道を応援しています。

すし凡帆 炉端
赤シャリ・赤酢使用
江戸前鮨 公式HP

■仙台東口店 TEL 022-292-5775
■銀座コリドー街店 TEL 03-3289-9888
■代々木店 TEL 03-3320-1370
■六本木店 TEL 03-6434-9075
■銀座一丁目店 TEL 03-3563-3033
■秋葉原店 TEL 03-3865-0880
■西新宿七丁目店 TEL 03-5337-7066
■大井町店 TEL 03-5783-2262
■錦糸町駅前店 TEL 03-6659-3187
■町田西口店 TEL 042-732-5285
■所沢店 TEL 04-2940-5611
■海浜幕張店 TEL 043-298-1026
■登戸店 TEL 044-930-1144
■本厚木店 TEL 046-226-1312
■ラスカ平塚店 TEL 0463-25-1333
■船橋店 TEL 047-460-7707



歴史と美食が響き合う町「森町（まち）」

北海道森町会　事務局長　岩井一桐



北海道の南西部に位置し、波静かな内浦湾（噴火湾）と秀峰・駒ヶ岳を望む森町。アイヌ語で「木の多く茂っているところ」を意味する「オニウシ」をその名の由来とし、豊かな自然と調和しながら歩んできた歴史ある町です。北海道内の自治体で唯一「ちょう」ではなく「まち」と呼ぶことにも、この地への深い愛着が込められています。

■歴史の転換点、鷲ノ木の上陸

森町は、日本の幕末史を語る上で欠かせない舞台でもあります。明治元年（1868年）、榎本武揚率いる旧幕府軍の艦隊が、箱館戦争の第一歩として上陸したのが鷲ノ木の海岸でした。ここから五稜郭へと続く激動の物語が始まりました。

■「食」の革新を支えた先駆者の知恵

●冷凍食品事業発祥の地：大正時代、日本で初めて本格的な冷凍食品工場が建設されました。この地で培われた冷凍・加工技術は、現代の日本の食卓を支える礎となっています。

●「いかめし」の故郷：全国の駅弁大会でも絶大な人気を誇る「いかめし」は、戦時中の食糧難の折、お米を節約しつつお腹いっぱいになれるようにと森駅で考案されたものです。

■噴火湾の恵みと豊かな大地

基幹産業である漁業では、独自の「耳づり」漁法によるホタテ養殖が盛んで、北海道屈指の産地として知られています。また、地熱発電の熱を利用したハウス栽培によるトマトや、糖度の高い「みやこ」かぼちゃなど、大地の恵みも一級品揃いです。春には20品種を超える桜が咲き誇り、固有種「森小町」が彩る青葉ヶ丘公園やオニウシ公園は、訪れる人々を魅了します。悠久の歴史と、豊かな食、そして四季折々の美しい景観が息づく森町。その魅力をぜひ現地でご体感ください。



森町オニウシ公園の桜



森町駒ケ岳と榎本武揚上陸地

ふるさと福島町には レアメタル産出の歴史があった。

北海道福島会　幹事長　笹森博昭



ここに1冊の本を見つけた。柏稜会（福島町函工同窓会）が2023年に編纂した冊子で、わがふるさとの「歴史探訪Ⅱ」である。

内容は、福島町の歴史に関するもので、ちょうど、2021年に福島町教育委員会が刊行した、「ふくしま歴史物語」に類する内容であったが、「歴史物語」が小中学生でも容易に読めるように平易な仮名遣いを使用し、当町出身者やゆかりの偉人を中心に纏めているのに対し、本書は、文化、宗教、鉱業について取り上げているのが特長であった。とりわけ、鉱業に関しては、体験者の記憶に基づく実地調査を基に具体的に書かれていた。

私は、18歳まで福島町に住んでいたが、鉱業には全く見識がなく新鮮な内容であった。

福島町の鉱業は、その昔、砂金掘りが居て、江戸幕府の時代に隠れキリシタン数十名がその討伐により、殉教を遂げたと歴史の教科書で読んだ他は記憶になかった。そのため、その内容に驚いた。

なんと、福島町は明治27年からマンガン鉱山「東邦福島鉱山」を有し、産出したマンガンを製鉄材料として岩手県に送っていたというのだ。しかも、戦時中はもとより、1970年まで採掘が続いたという。1957年には1023トンの産出であったとも。

マンガン鉱は、昨今話題のレアメタルで、製鉄用材料はもとより、電池用に使用される鉱物である。残念ながら、閉山の理由は安価な外国製品との競合に敗れたとの事である。

しかし、現在は希少資源の確保は国を挙げての命題であり、現在の技術をもって復活は出来ないものであろうか。新しい町起こし事業の材料にできないものであろうか。何せ深海6000mからレアアース泥を採掘する国家プロジェクトが発足する時代である。

かつての、ニシン、いか、昆布、で活況を浴びた福島町に新しい話題として復活することを望んでやまない。

木古内町寒中みそぎ

東京木古内会　事務局　太田本気

木古内町を代表する伝統行事が、毎年1月13日から15日にかけて行われる「寒中みそぎ」についてご紹介いたします。

寒中みそぎは、天保2年（1831年）、佐女川神社の神社守の夢枕に「御神体を清めよ」とのお告げがあり、厳寒の海で御神体を清めたことが起源となっており、当時、度重なる凶作や災害に見舞われていた地域の人々の無病息災、豊漁豊作等を祈願するために始められた神事で、その精神は現在も受け継がれています。

毎年、「行修者」と呼ばれる4人の若者が神社に参籠し、冷水を浴びる水ごりを繰り返しながら心身を清め、最終日の1月15日には御神体を抱いて厳冬の津軽海峡へ入り御神体を清める姿は、木古内町の冬を象徴する伝統神事として約200年にわたり受け継がれており、令和5年には北海道無形民俗文化財に指定されています。

令和8年（2026年）は、佐女川神社400年という大きな節目の年に当たります。先人が築いた歴史と文化を未来に思いを寄せていただければ幸いです。




心身清め行事


神体清め行事

瀬棚「三本杉岩」の物語

東京せたな会　会長　佐藤満俊



英雄神オキクルミは、太田岬の神と会った時お互いに親睦を深めようと次のような約束を交わした。それはオキクルミが今度太田岬の神のところに遊びに行くという約束だった。太田岬の神は期待して濁り酒を作って待っていたが、予定の日がすぎてもオキクルミがやってこなかった。せっかく作った濁り酒は醗酵してしまい、川に捨てられてしまった。

それでも怒りが収まらない太田岬の神は、岬に立って呪文を唱えると、たちまちあたりは暗くなり風が強まると大嵐になってしまった。

沖合を通る英雄神オキクルミの船はまるで木の葉のように揺れ、船に積んであった荷物は何もかも押し流され、中でも大切にしていたモリ（銛）と竿と水汲み用の柄杓の三つも流されてしまった。

浜辺に辿り着いた三つの流物はやがて奇岩となり、いつの間にか三本杉になったと言われている。

このように一連の伝説の中には現在の「濁川」伝説と「三本杉岩」伝説が混在していることがある。三本杉岩の伝説は、後になって江差追分の作詞家が「主は三本杉よ、二本離れて妾しゃ独り」と書いているけれども先の伝説にはまだ、妾になって離れて立つ一本のような嫉妬心はなかったかも知れない。



株式会社　熊谷工業

取締役　熊谷譲　（東京木古内会会長）

本社　〒176-0024 東京都練馬区中村 2-27-4

電話(03)3999-9860　FAX(03)3999-9955

携帯 090-3203-9971　E-mail : kumagai@lake.ocn.ne.jp

☆とび土工・解体工事業　許可(般-7)第 88360 号

☆産業廃棄物収集運搬業許可―東京都・埼玉県・千葉県・群馬県
神奈川県・山梨県・茨城県

☆産業廃棄物保管積み替え許可(埼玉県)―許可・第 0111010209266

主要業務

○建物解体工事　○舗装工事　○収集運搬工事

○外構工事　○根切工事　○他重機工事一式

～創業 48 年～地域からも愛される会社です。

久しぶりにふる里岩内に帰省して

東京ふるさと岩内会　産直部会理事　杉田久良



私は昭和26年1月に岩内に生まれました。学生時代は道内に住んでいましたが、就職を期に埼玉県に住み、その後は仕事の関係で群馬県に移動し、現在は館林に居を構えております。妻も倶知安町の出身で、子供が小さい頃は毎年、帰省していました。約10年前に両親が相次いで亡くなり、その後のコロナ禍もありまして、帰省しておりませんでした。

そんな状況下で東京ふる里岩内会に入会したところ、どうしたことか産直担当の役員となりまして、引き継ぎが必要となり昨年7月に久しぶりに帰省致しました。町役場への表敬訪問、各協力店様へのご挨拶等で久しぶりの故郷訪問となりました。今回帰省して懐かしかったことが二つありご紹介させていただきます。

一つ目は「含翠園」の復活です。含翠園とは初代岩内町長の梅沢市太郎氏が明治37年から大正3年までの10年以上の歳月と巨額の個人資産を投じて造園した日本庭園で、岩内神社の近くにありました。小学生の頃は遠足で行ってました。その後、所有権の移転などで手入れが行われていませんでしたが、都市公園として岩内町の管理となったことで見事な復活となりました。

二つ目は、海水浴場「岩内マリンビーチ」の復活です。子供の頃は大浜地区に海水浴場があり、大学生時代の2年間監視員のアルバイトでの思い出の場所でした。岩内へのフェリーが就航するとなった時に海水浴場がフェリー埠頭として整備されたため、その後、町内には海水浴場がありませんでした。私が見に行った昨年7月時点では開設のための工事を行っている状況で、その後、8月にオープンしたと聞きました。今年はビーチバレーコートを整備しているようです。

岩内には美味しい海の幸もたくさんあります。帰省の際にはぜひ岩内を訪れてください。

第16回「東京ニセコ会の集い」開催

東京ニセコ会　会長　菅原信明



去る5月17日（日）、第16回「東京ニセコ会の集い」を千代田区平河町のホテルルポール麹町で開催いたしました。

当日は、ニセコ町より田中町長をはじめ、高瀬町議会議員、商工観光課馬渕課長、ニセコ国際高等学校の本谷校長にご臨席いただき、ふるさとの今と未来について語り合う、大変有意義なひとときとなりました。

田中町長からは、町長就任にあたっての力強い抱負と、ニセコ町が進めるまちづくりについてご講演をいただきました。また、本谷校長からは、ニセコ国際高等学校の開校にあたり、国際社会で活躍する人材の育成を目指す学校の特色や魅力についてご紹介いただきました。

同校は8月に開催される「地域みらい留学 高校進学フェス in 東京」にも参加し、全国から生徒を募集するなど積極的な広報活動を展開しており、次代を担う人材育成の拠点として大きな期待が寄せられています。

ニセコ町は、羊蹄山やニセコ連峰、清流・尻別川に代表される雄大な自然環境と、美しい景観、豊かな農産物、温泉など数多くの魅力に恵まれた町です。世界に知られるパウダースノーだけでなく、四季を通じて多彩なアウトドアや観光を楽しむことができ、国内外から多くの人々が訪れています。

さらに現在は、こうした豊かな自然環境や地域資源を守りながら、気候変動対策や脱炭素社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進しています。環境負荷を抑えた高性能集合住宅の整備や新たな街区づくり、町民参加による未来志向の商品開発など、全国に先駆けた施策が着実に進められており、持続可能なまちづくりの先進地域として、今後ますます注目されることが期待されます。

東京ニセコ会では、これからもふるさとニセコ町との絆を大切にしながら、会員相互の交流を深めるとともに、ニセコ町のさらなる発展を応援してまいります。



「西中学校修学旅行」と ふるさとの「結縁」

東京余市会　副会長　常盤浩史



去る5月13日余市町の西中生徒18名、引率の先生4名、総勢22名が2泊3日の予定で東京に修学旅行で来ました。

校長先生から修学旅行とはいえ観光旅行ではないと、事前に趣旨のご説明がありました。見学内容としては、現在活発に活動している一流の企業の姿を生徒に見せたいというものです。今回の催しは東京余市会としては初の試みでした。

余市町役場の職員をはじめ西中の先生と入念な打ち合わせをさせて頂き、そして余市になじみのある企業へ見学のご紹介や同行が実現しました。

1日目は、国会議事堂見学と東京スカイツリー見学。国会議事堂では、西中卒の先輩の衆議院議員中村裕之文部科学副大臣にもお会いできました。

2日目は自由行動。3日目は雪印メグミルク本社の見学とニッカウヰスキー株式会社本社の見学です。雪印では同中卒の先輩社員のビデオレターで歓迎いただきました。ニッカでは本社ビル内の見学もでき、地元名門企業の立派な本社を見ることができました。

その後私たちにとって嬉しいことがありました。来年3月の修学旅行生徒の卒業式へご招待を頂きました。

それにこの修学旅行は道新の記事として掲載していただきました。

東京にいる私達は今回の催しで、ふるさとへの不思議な「結縁」を感じました。

今回の旅行で関わったすべての皆様にお礼を申し上げます

今も蒸気機関車ニセコ号は走ってる

東京小樽会　会長　成田芳生



3月28日土曜日に、後志地区ふるさと連合桜を見る会を開催した。各ふるさと会から54人が参加し、王子の飛鳥山公園の満開の桜を見た後は、池袋の小樽商大の緑丘会館で、後志の各ふるさと会が交流し、楽しく有意義な時間を過ごした。

この王子の地は、明治の大企業家渋沢栄一が起こした王子製紙の最初の工場があったところで、北海道の基幹産業発祥の地ともいえる。その公園には、「D51＝蒸気機関車が展示されており、子供のころ親しんだ機関車に触れることが出来る。

この蒸気機関車D51と同じように、都内で展示されている有名なものは、新橋駅前のC11形292機関車で、昭和47年に設置されている。

蒸気機関車には、B形C形D形等の種類がある。その違いは、車輪の数、ABCのC形は3個、D形は4個で、B形は2個である。B形の機関車の「しづか号」は、小樽の総合博物館で、「弁慶号」は大宮の鉄道博物館で見ることが出来る。C形機関車は、D形に比べ車輪の直径が大きく、スピードを出しやすく旅客用とされ、D型は、力が強く貨物用とし、走行していた。今も、全国で、蒸気機関車は、営業運転されている。よくTVに映るのは、秩父鉄道の熊谷～三峰口間を走るC58形363、静岡県の大井川鉄道で走るC56形135「トーマス号」などがある。



平成25年9月14日撮影
ＳＬニセコ号出発式（ＪＲ北海道函館線 小樽駅）

最近知ったのだが、北海道日高本線で走っていたC11形207である。この蒸気機関車は、小樽でも、平成12年から平成26年まで小樽駅～蘭越駅間をニセコ号として運転されていた。このニセコ号は、現在も営業走行している。大手私鉄では唯一、東武鉄道鬼怒川線日光線で「ＳＬ大樹」と命名され、観光列車として大人気である。

このC11形207の特徴は、機関車正面のライトがカニの目のように2個ついていることにある。日高本線で海霧の中を走行するために通常1個のライトを2個に増設した設計になったのだ。私、この蒸気機関車、何か、微笑ましく懐かしい、ぜひ乗ってみたいと思っている。



令和8年7月25日撮影
ＳＬ大樹7号（東武鉄道鬼怒川線 新高徳駅）

10月23日、東京とまこまい会開催！

東京とまこまい会　事務局長　加賀谷　隆

苫小牧市は、北海道の海の玄関口「苫小牧港」と空の玄関口「新千歳空港」のダブルポートを擁し、北海道のものづくりや物流を支える産業拠点都市です。また、登山で人気の「樽前山」、ラムサール条約登録湿地の「ウトナイ湖」、漁獲量25年連続日本一を誇る特産の「ホッキ貝」など、国内外に誇れる自然環境と美味しい食に恵まれており、都市の機能性と豊かな自然が美しく調和している点も大きな魅力となっています。そして、雪の少ない苫小牧は「氷都」と呼ばれ、アイスホッケーやスピードスケートが盛んな「スケートのまち」でもあります。



この苫小牧市の魅力を首都圏から広く発信し、さらなる発展を支える応援団が「東京とまこまい会」です。苫小牧出身者やゆかりのある方々、そして、苫小牧を愛するファンが熱い郷土愛を胸につながるふるさと会です。

昨年の総会・懇親会には１７０名の皆様にご出席いただき、苫小牧市出身の俳優・染木彩花さん（高座名：紅あやかさん）による講談や抽選会で大いに盛り上がりました。これも、苫小牧市にご縁のある企業・団体の皆様並びに会員の皆様のご支援とご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

今年の東京とまこまい会総会・懇親会は10月23日に開催いたします。ホッキ貝など苫小牧の食材を使ったお食事と、豪華景品が当たる大抽選会をご用意しておりますので、地元の味覚を堪能しながら、会員の皆様の親睦を深めていただきたいと思います。

活気ある産業と豊かな自然が息づく苫小牧市と、首都圏からその絆を未来へと紡ぐ東京とまこまい会。東京とまこまい会は、これからも首都圏とふるさとを結ぶ架け橋として、苫小牧市の発展と輝かしい未来を全力で応援していきます。

緑香る駒場東大エリアを散策して

東京登別げんきかい　副会長　宮　高　隆

風薫る絶好のハイキング日和の5月9日、井の頭線駒場東大駅前にふるさと登別出身者、登別にゆかりのある人の集まり「東京登別げんきかい」の老若男女37名集合。互いに無事生存を確かめ、旧交を温める。



今年の東京再発見シリーズ訪問先は、旧前田家本邸洋館・和館、と異国情緒たっぷり、多くの信者、見学者が訪れていた東京ジャーミイ（イスラム教のモスク（礼拝堂））、モスク内は女性が髪を隠すスカーフ着用が求められていた。

参加者も高齢になり、歩く距離が長く、坂道が多くきつかったとの意見もあり、今後のコース選定に考慮したい。

歴史の勉強で頭に十分栄養を与え、坂道の歩きで体の疲れを癒し、最大の目的地（休憩宴会場所）代々木上原駅近くの「串カツ民屋」へ。直行グループを交え、再集合して店を独占貸切状態にして、大宴会・懇親会の始まり、近況報告、若い新人の紹介、ふるさと談議に話を咲かせ、瞬く間に時が過ぎ、秋の総会再会を楽しみにして散会。物足りない組は二次会へ繰り出す。



銀座で創業47年、
都心の不動産のことならお任せを！

不動産の売買・仲介・管理・ご相談承ります

株式会社 八千代商会

代表取締役　堀川哲夫（東京白老会・副会長）

公益社団法人
東京都宅地建物取引業協会会員
都知事免許（11）42450

〒104-0061
東京都中央区銀座3丁目11番7号
電話　03-3545-1466（代）
FAX　03-3546-3860



爺さんの遠足第2幕・道東の旅

神奈川県北海道道人会　阿部正夫（松前町出身）

昨年は道南を回った。隣町に移動するのに車で2時間はかかり江差方面は断念した。今年は道東。エアトリを利用してチケットを時価の半額で手に入れた。企画に際して3人にご協力を頂いた。東京農業大学網走キャンパス卒の知人からは見どころ食べ所のレポート。東京標津会の水田さんからは釧路の炉端焼き店を紹介。連合会前会長の新家さんからはパンフレットを頂いた。根室観光協会からも頂いた。今年も10月13日から。メンバーは昨年と同じ爺さん4人（神戸、熱海、埼玉、横浜の在住者）。果たして。



筆者　日本記者クラブ会報より

10月13日（初日）

羽田空港に集合してお昼の飛行機で女満別に飛ぶ。空港にある「スタンディング寿司・バー緑戸で腹ごしらい。レンタカーを借りて知床に向かう。憧れの絶景ロード「天に届く道」（斜里町の東、知床半島の北の付け根、地平線まで一直線の道で天まで続くように見える）を通る。初日は知床第一ホテル。宴会後のカラオケも予約してある。

10月14日（2日目）

ホテルを出発して。根室海峡を左に見ながら別海に向かう。新家さんから「別海のジャンボ帆立バーガーは道の駅で食べられます。」と野付半島先端のネイチャーセンターで浜のお婆さんの処で昼ごはん。」尾岱沼（おだいとう）では船に乗って観光したい。野付から一路根室に。納沙布岬で「北方領土は日本の領土だーーー」と大きな声で叫ぶ。宿はイーストハーバーホテル。紹介された「浜料理」を頂く。

10月15日（3日目）

根室から北太平洋シーサイドラインを釧路に向かう。釧路湿原を経て釧路入り。夜は「炉ばた」を3月に予約を入れた。煙が黙々の囲炉裏で食べる魚介類は産物が豊かで勝手丼が凄い。）釧路湿原に行きカヌーにも乗る。またタンチョウが観られる鶴居・伊藤サンクチュアリーもある。釧路タンチョウ空港でパーティーを行って14時45分のフライトに乗る。



昨年　函館山にて

最高だ。食後は「炉ばた」のお姉さんが釧路ナンバーワンのカラオケスナック店を紹介。宿は釧路プリンスホテル。

10月16日（4日目）

朝食後は和商市場（札幌、函館と並び北海道3大市場の一つ。市民の胃袋を満たしている約50軒の店が入っている、特に海

ふるさとと東京の〝次世代〟への支えあい

東京当麻会　会長　高島芳美



今年の東京当麻会は初の試みとして、東京在住の当麻町出身の若い人を対象に、アンバサダーを募集して8月2日の蟠龍まつりで、これまでの役員に代わり挨拶をお願いしました。その栄えある初代アンバサダーは、今年大学を卒業して吉本興業の東京32期所属の研究生となった平井京輔さんです。蟠龍まつりでは東京当麻会として当麻町社会福祉協議会への寄付の贈呈と恒例の餅まき、そして10月25日に行われる東京当麻会の集いの宣伝をしてもらいました。それまでの50～70代の役員の挨拶とは違い、若い人たちにも会としての新たな熱意が伝わったことと思います。

また、10月の集い当日には吉本興業でのコンビである「ドンアンキロ」として、お笑い芸も披露して頂けるので、今までにない盛り上がりになると思います。このアンバサダーの発案はそれまでの役員会の若返りが進んだ結果でもあります。東京当麻会の会長を務めて今年で5年目になりますが、1年目からそれまでの故郷を懐かしむ集いではなく、この集いが東京の会員と当麻町からの来賓それぞれが、触発し合う場になることを言い続けてきました。そのひとつの成果が、今年はカタチになったと思います。



ドンアンキロのおふたり

栗山トンネル／コクワ／泣く木

東京栗山会　会長　渡辺　貞



JR室蘭本線の岩見沢～苫小牧間は平地を走るのでトンネルは一つしかない。それが栗山トンネル（注1）である。今から70年以上前、私が小学校の5年か6年の秋、我が家の近くのガキ大将で、不良とも言われていたN君が、何故か私と、私と同様まじめ（！）なG君に「コクワ採りに行かないかい？」と誘ってきた。「いいけど、何処だい？」「トンネルの向こうさ」「えっ！そんな遠いとこ？あそこは泣く木（注2）も近くにあるし、おっかないな」「大丈夫だよ。トンネルの中、通って行けば近いし、オレ、コクワの秘密の場所、知ってんだ。山ブドウもいっぱいなってるぞ」「そんなら行くか」と言うわけで、3人でコクワ採りに行くことになった。

「お～い、汽車来ないかい？」「線路に耳あてて聞いてみれ」「なんも聞こえないよ」「よし、そんなら行くべ」「走れ！汽車、来たら大変だぞ」。

当時は、まだ蒸気機関車。トイレは床に穴を開けただけの垂れ流し。トンネルの中で汽車が煙を吐いたり、誰かがトイレに入っておしっこでもしたら、トンネルの中に居る人は、堪ったものではない。

「あ～、良かった！　汽車、来なかった！」「コクワ何処？」「こっちだ」「あった！」という訳で、コクワと山ブドウを袋にいっぱい収穫し、我が家に意気揚々と帰って来たことを今も鮮明に記憶している。

注1：当時の栗山トンネルは、平成2年の土砂崩れによって、廃トンネルとなり、現在は近くに新しいトンネルが通っている。

注2：栗山町の国道234号沿いにあった樹齢300年ほどのハルニレの木。開拓や炭鉱などで犠牲になった人たちの霊が楡の木に乗り移ったと伝えられ、木を切り倒そうとしたら「キュー、キュー」と木が泣くように聞こえることから、泣く木と名付けられた。初代の木は、近くの道路工事に従事していた若者が酔った勢いでチェーンソーで切り倒してしまった。この木のきれっぱしを自宅に持ち帰った者が、その夜、うなされたとか、薪としてストーブで燃やした人が急死したなどの噂がある。現在は、2代目の木が植えられている。

わがふるさと砂川市

東京砂川会　会長　森田　壮平



北海道のほぼ中央、札幌市と旭川市の中間に位置する砂川市は、豊かな自然と快適な都市機能が調和した魅力あふれるまちです。

明治36年8月に奈江村から砂川村に改称された「砂川」の名前は、アイヌ語の「オタ・ウシ・ナイ（砂・多い・川）」を意訳したことに由来します。明治23年の開基以来、木材産業を中心に栄えましたが、時代の変化とともに製造業などへ転換、発展を遂げてきました。

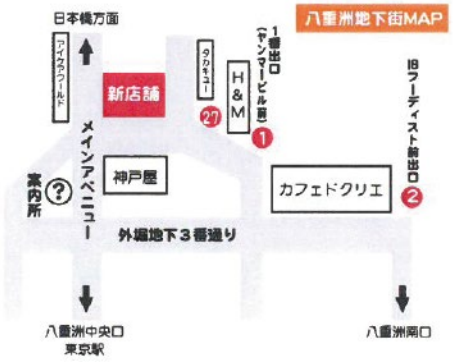
砂川市を語る上で欠かせないのが「すながわスイートロード」です。国道12号沿いを中心に、和洋菓子店やカフェが多数点在し、「すながわスイーツ」として広く親しまれています。歴史ある銘菓から新しいスイーツまで、街を散策しながら甘い香りと美味しい出会いを楽しむことができます。東京砂川会の総会等の際には、これらスイーツのお土産が参加者の好評を得ております。

また、自然の恵みを活かした潤いのある環境も大きな魅力です。広大な敷地と大型遊具を持つ「北海道子どもの国」は、ご家族連れに大人気のスポットです。さらに、水辺の美しい景観が広がる「砂川オアシスパーク」では、ヨットやカヌー、冬のワカサギ釣りなど、四季折々のアクティビティを満喫でき、私の幼少期には何度か洪水を起こした石狩川水域が憩いの場へと生まれ変わりました。

暮らしやすさの面でも、砂川市は充実した環境が整っています。道央圏を結ぶ交通の要衝であることに加え、高度な医療を提供する市立病院を中心に、医療や福祉、近年は特に「子育てするなら砂川」を掲げて子育て支援の充実に力を入れています。豊かな自然のなかでゆったりと過ごしながら、安心で快適な生活を送ることができるまちです。

甘いスイーツで心を満たし、美しい自然でリフレッシュできる砂川市。観光で訪れるのはもちろん、新たな暮らしの舞台としても、ぜひ一度、砂川市の魅力に触れてみてください。

HOKKAIDO
FOODIST
北海道フーディスト
〒104-0028
東京都中央区八重洲2丁目1
八重洲地下街
■TEL／03-3275-0770
■営業時間／10:00～20:00
■定休日／年中無休
（1月1日のみ店休）



こころの故郷「滝川市」

東京滝川会　副会長　月館聡成



高校卒業まで滝川で過ごし、大学進学を機に道外へ出てからは、中国・四国、関西、関東と全国を転々とし、気が付けば道外生活の方が倍以上に長くなりました。それでも、滝川への想いは年を追うごとに強くなり、帰省の回数も自然と増えています。帰るたびに、第一小学校、江陵中学校、滝川高校をレンタカーで巡ってしまうのは、今も心の拠り所だからだと思います。

滝川との絆を強く保っている理由はいくつかあります。両親が健在で実家が未だあること、幼い頃から見慣れたピンネの山並みや自然に触れられること。そして何より、札幌近郊や滝川周辺に多くの友人が今も暮らしていることです。小中学校の友人、大学時代の仲間と今も多く繋がっていますが、特に滝川高校音楽部の同期を中心とした親友たちとは、高校卒業後も変わらず年3～4回、私の帰省のたびに三楽街で集まり、飲んで食べて近況を語り合ってきました。コロナ禍を除けば、気付けば43年。単純計算でも150回以上は集まっているでしょう。家族のような親友たちが滝川とその周辺に大勢いることは、私の一番の宝であり誇りです。

両親の高齢化とともに帰省回数は年5～6回に増えましたが、地元三楽街での親友との再会、札幌での大学時代の友人との語らいは、今も変わらぬ楽しみです。友情という最高のスパイスが加わると、ザンギ、ほっけ、ジンギスカンといった北海道の味は、どんなフランス料理にも勝るご馳走になります。酔いの回りが早くなったのは年齢のせいでしょうか。

私も還暦を過ぎ、これから先、実家や墓地をどうするか、帰省の頻度をどうするか、課題は山積です。遠く離れた地で思い悩むこともありますが、まずは関東の滝川出身者の皆様とも絆を深めながら、これからも良き友良き家族として歩んでいけたらと思っています。

ありがとう留萌線そしてさようなら

東京秩父別会　相馬功



日本一短い本線「留萌線」の最終列車（石狩沼田↕深川14・4キロ）、（留萌↕石狩沼田2023年廃線）があふれるほどの石狩沼田駅のホームの観衆に見送られ、3月31日の午後9時34分多くの「ありがとう」の声に送られ旅立ち、留萌線115年の幕を閉じました。

留萌線は、日本海側の豊富な石炭・海産物・木材等の輸送の為、明治43年深川↕留萌間が開業。当初日本海沿いに札幌までの予定があった増毛線が増毛まで大正10年に開業（平成28年廃線）。留萌線の支線として羽幌駅が開業（昭和2年）、その後羽幌線となり、昭和33年幌延駅まで全線開業して宗谷本線に接続されました。かつては、急行「はぼろ・るもい」が札幌、旭川から運行されていましたが、昭和45年の羽幌炭鉱の閉山、沿線住民の減少、により昭和60年に廃線となりました。

私は、子供の頃、父親が鉄道員であったことから線路傍の官舎に住んでいました。一番列車は6時頃秩父別駅に着き、最終が夜10時頃と上下線で20便位走っており、SLのころは、風向きでSLの煙が窓を開けていたら入ってきました。また、海水浴シーズンには、満員のお客様を乗せた臨時列車が走っていたり、多くの通学、通勤の方が秩父別駅を利用していました。朝7時30分頃留萌方面から到着する列車には、留萌の海産物等を運ぶ行商人が利用し、新鮮な海の幸を売りに来ました。

町の人口も約7000人（昭和32年、現在約2100人）と多く、駅には貨物引込線がありました。

私は、18歳で上京してからも、深川から秩父別迄よく利用しましたが、帰省の都度利用客が少なく、廃線もやむを得ないと寂しさが残りました。

今、北海道は、人口減少・道路網の整備。札幌圏集中で、鉄道網の維持に多くの難題を抱えています。留萌線は、115年の歴史に幕を閉じました。

長い間、生活を支えてくれたことに「ありがとう」の言葉を贈ります。

個人出版・会報などの制作いたします。
お気軽にご相談下さい。

株式会社　双文社

〒135-0052　東京都江東区潮見2-3-7
電話：03-6666-4747　FAX：03-6666-3104
HP：http://www.soubnsha.co.jp

美唄市出身の世界的彫刻家「安田　侃」

東京美唄会　事務局長　林　芳雄



安田侃（やすだ　かん）さんは、北海道美唄市に生まれ、イタリアと日本を拠点に世界的な活動を続ける彫刻家です。

昨年11月、世界的に権威ある第12回イサム・ノグチ賞を受賞し、大理石やブロンズを用いた作品が「境界を打ち破る創造性」と高く評価されました。

安田さんは美唄市の小・中・高校を経て北海道教育大学、東京藝術大学大学院で学び、1970年にイタリア政府給費留学生として渡欧。ローマ・アカデミア美術学校でペリクレ・ファッツィーニ氏に師事。以降、大理石の産地として知られるピエトラサンタにアトリエを構え、大理石とブロンズによる彫刻の創作活動を続けています。

詩人で評論家の大岡信は「侃の彫刻は、それに接する人々に、彼ら自身の解放され、くつろいだ自我を、知らず知らずのうちに取り返させるのである。」と書いています。

安田侃の作品は、日本とイタリアを中心に、ヨーロッパ各地・アメリカ・アジアへと広がり、世界の都市空間・自然環境・歴史的建造物と響き合う形で恒久設置されています。

国内では北海道から九州まで50箇所以上に設置されています。主な場所を紹介しますので、是非訪れて作品に接し触れていただきたいと思います。

美唄の「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」には、40点を超える作品が設置。ＪＲ札幌駅にある「妙夢（みょうむ）」は待ち合わせの定番となっております。2023年設置の苫小牧ノーザンホースパークの「ディープインパクトゲート」、洞爺湖等に設置。



東京ミッドタウン　「意心帰」と筆者

東京では、六本木の東京ミッドタウンに「妙夢」そのＢ１Ｆに「意心帰（いしんき）」、東京国際フォーラム、都庭園美術館等に設置。

ほかの設置場所等は、「ＫＡＮ　ＹＡＳＵＤＡ」ホームページをご覧下さい。

ふるさと会の合併に寄せて

東京ふるさと北見会　事務局長　鈴木　哲弘



我がふるさと北見市は、北海道東部に位置し、知床、大雪山、阿寒・摩周国立公園とオホーツク海に囲まれ、大自然と豊富な観光資源に恵まれています。更には、玉ねぎ、ジャガイモ等の農産物、ホタテ、シャケ等海産物の産地として知られ、道東地域の経済・観光の中心都市となっています。古くは、世界のハッカの生産地として知られていました。

今年北見市は、近隣の町（常呂、端野、留辺蘂）が合併して、20年の節目を迎えました。我々のふるさと会も、それぞれの地域毎に活動を続けてまいりましたが、近年は会員の高齢化や担い手不足など、安定した活動を継続するためには、新たな体制づくりが必要であるとの認識に至りました。

そこで、役員等による協議を重ね、昨年11月の合同総会で合併を決議し、「東京ふるさと北見会」としてスタート致しました。

合併して一年目ですが、これまで、定期総会、ボウリング大会、屯田兵ツアー等のイベントを通じて相互の交流がありましたので、違和感なくふるさと会の活動が継続されています。また、ここ十数年は、ふるさと会活動を通じて、ふるさと出身以外の方の参加も増えてきました。このように、ふるさとのＰＲにつながれば、益々地元との絆が深まるものと思っています。



2025.11.22　東京ふるさと北見会合同総会

これからは、若い世代の方々へも積極的に声を掛け、会員一人ひとりの声を大切にし、会の絆を深め、ふるさとの発展に貢献したいと思います。

我がふるさと会は、来年発足50周年を迎えます。これまで各会の活動を支えてくださった会員の皆様、ご協力・ご支援いただいたふるさとの皆様のお陰であり、心より感謝申し上げます。そして北海道ふるさと会連合会の皆様には、北見市に足を運んで豊富な味覚や大自然を満喫頂ければ幸いです。

（注記）屯田兵ツアー 北見市のご協力を得て2日間で、北見市周辺の観光と特産物の味覚・農産物植付等の体験と北見市関係者との交流会を行う。今年で18回目。

昭和40年代頃の稚内

東京稚内会　小笠原　健悦



私は昭和38年（１９６３年）の生まれで、幼年期である昭和40年代頃の私の記憶を書きたいと思います。

かつての稚内は、たくさんの底引き漁船と無数の水産加工場、大手水産会社も存在して水産王国として知られていました。

その頃、これは北海道民のほとんどの方が知らないと思いますが、稚内に米軍基地がありまして、私の父も米軍基地の運転手として働いておりました。米軍基地は１９４５年から１９７２年までありまして、現在は自衛隊に引き継がれていますが、当時は約５００人の日本人がその基地で働いていたのです。

現在稚内で５００人規模の雇用を支える企業は皆無でしょうから、稚内の経済を支える柱のひとつであったのではないかと、容易に想像できます。父が米軍を退職した時は、１ドルが３６０円の時代ですからその退職現金を元手に声問という地名の所で漁師を始めます。

その声問には、なんと油田があって、道路には、パイプラインが敷かれ稼働していたのです。それがいつの間にか無くなり、いつ頃まであったのかは記憶がないのですが、バス停は帝石前となっております（帝国石油）。

また油田跡は、今も残っており地表に油が湧き上がっているのを見る事ができます。その声問付近から、ガスが採れた豊富町までの山を、石油鉱山というそうです。声問では鯨も捕れており、そこで加工もしてました。



昭和40年代の稚内は、水産王国以外の経済力もあったようです。

稚内がこれからどのように再生していくか少しでも力になりたいと思っています。

五感を使って人と人とのふれあいを！

東京旭川会　副会長　小松仁志



令和７年11月１日（12時～大手町サンケイプラザにて）第47回総会・懇親会を開催しました。旭川市副市長をはじめ多数の皆様にご参加いただき、講演会やゲストによる歌唱、抽選会などを催しました。

ご協力いただいた旭川市、協賛企業、団体の皆様方には厚く御礼申し上げます。

《総会》

令和６年度の事業報告・決算報告、令和７年度の事業計画・予算案が諮られ承認されました。

《講演会》

今回は「暮らしに役立つＡＩ入門」と題した講演が行われ、会員が熱心に耳を傾けました。スマートフォンのアプリや生活サービスにもＡＩが広がりつつある現状が紹介され、身近な変化への関心が一層高まりました。ＡＩが急速に生活に入り込む一方で、便利さに頼りすぎることへの懸念もあり、だからこそ五感を通じた体験や、人や故郷とのふれあいの価値がより重要になっていると感じた方も多かったのではないでしょうか。本稿のタイトルは、こうした気づきから着想を得たものです。

《懇親会》

☆ゲストコーナー

旭川出身のタンゴ歌手・冴木杏奈さんによる歌声が披露され、情感豊かな歌声に会場が大きく沸きました。



☆大抽選会

恒例の大抽選会が行われました。協賛企業・団体から多くの景品をご提供いただき、皆さんに大いに楽しんでいただきました。

☆お開き　和やかな懇親会もあっという間に定刻を迎え、集合写真の撮影をもってお開きとなりました。ご参加いただいた皆さまには、旭川市、市関係団体、協賛企業よりご提供いただいた旭川のお土産などをお持ち帰りいただきました。

東京旭川会は、これからも旭川市と周辺８町（鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町）に縁のある皆さまの懇親と、故郷への貢献を目的に活動してまいります。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ふるさと下川町の出店する〝戸塚ふれあい区民祭り〟の紹介

東京下川会　副会長・事務局長　西川稔彦



ふるさと下川町は、1901年（明治34年）に岐阜県郡上郡高鷲村（現在の郡上市）から24戸の開拓者が入植して以来126年目を迎えております。「SDGs（持続可能な開発目標）17のゴール」をまちづくりに取り入れ、農業・林業を基幹産業に、とりわけ町有林の循環型森林経営を基盤とした地域づくりを推進しており、町の面積の約90％を占める森林とともに歩みを続けております。

横浜市戸塚区との関係は、平成22年の戸塚区川上地区の地域イベントにて下川町の森林育成を目的としたオフセット・クレジットの購入によるカーボン・オフセットを実施したことを契機に、平成23年8月に横浜市戸塚区及び戸塚区川上地区連合町内会と友好交流協定を締結したことから始まっております。

小学生の相互交流、下川町産材を使用した戸塚区内未就学児童への木育講座、下川町の小麦と戸塚区の梨を使用したビール製造などに取り組んでおります。このような背景のもと、毎年11月3日に開催される〝戸塚ふれあい区民祭り〟に出店しておりますので、ご紹介します。

下川町のブースでは、下川町の特産品販売や下川町産材を活用した木工体験ワークショップを行っており、毎回好評を博しております。近隣地域にお住いの方はもとより、皆様のご来店を歓迎いたします。是非、足をお運びください。

肝心の我が東京下川会は、今年も11月の第3土曜日に銀座ライオンクラシックホールに於いて総会・懇親会を開催予定でおります。会員減の中にあっても〝ふるさと下川町〟への熱い思いを抱いて出席される方々との再会に思いを馳せるこの頃であります。


区民祭りに出店する下川会


木工体験ワークショップの様子

東神楽町の記憶を未来へつなぐ

東京東神楽会　会長　安井規雄



首都圏に居住する東神楽町出身者など約150名で結成する「東京東神楽会」は、会員相互の交流やふるさと東神楽町の発展に寄与することを目的に活動しています。東京東神楽会は、遠く離れていてもふるさと東神楽を思う心を受け継いでいます。

東神楽町は、旭川空港を擁する人口約1万人のまちで、米やアスパラ、水菜などの農業が基幹産業です。近年は、民間調査会社の幸福度ランキングで2年連続全国1位の自治体に選ばれましたが、その豊かな暮らしの象徴となっているのが、複合施設「はなのわ」と、その前広場に広がる「はなのわガーデン」です。季節ごとに美しい表情を見せるガーデンは、住民ボランティアの皆さまと共に育まれており、訪れる人々に癒やしと新しい交流を生み出しています。

一方、近年は猛暑や大雨などにより、気候変動による暮らしや農業への影響も大きな関心事となっています。町は令和4年にゼロカーボンシティ宣言をし、2050年までの温室効果ガス排出量実質ゼロを目指しています。先人が開拓の鍬を下ろして130年以上。先人から受け継いだこの地を守り、次の世代へ手渡すことも、今を生きる東神楽の開拓です。

東神楽町に縁のある一人ひとりの思い出とともに、東神楽町の皆さんと町の魅力を育みつつ、さらに未来へつなげたいと思います。

（東神楽町まちづくり推進課　金子俊介氏の情報を基にしています。）

辯護士　安　井　規　雄
（東京東神楽会 会長）
〒104−0061　東京都中央区銀座７丁目17−12
銀　座　東　京　ビ　ル６階
安井・好川・渡辺 法律事務所
TEL 03（6264）2570㈹
FAX 03（6264）2571
E-mail　nyasui@y9.dion.ne.jp

第39回総会5年振り盛大に開催

東京ふらの会　事務局長　竹内　裕



東京ふらの会は北海道中央部の富良野沿線5市町村（富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村）から構成されます。東京ふらの会所属の5市町村はいずれも上川総合振興局に含まれます。東京ふらの会は1982年（昭和57年）に富良野沿線出身者の親睦団体として結成され、その後、沿線5市町村の中核をなす北海道富良野高校同窓生の参加を得て、東京ふらの会は大きなふるさと会となり、現在に至っております。また、富良野が好きという方、さらに富良野に興味があるという方も、当会が主催する各行事に参加できます。

昨年、2025年11月18日、東京ふらの会は第39回の親睦会を、東京都新宿にて開催いたしました。いつものように大勢のメンバーの参加がありました。

実を申し上げますと、第39回の総会は、第38回の開催から5年ぶりの開催でありました。第38回の総会開催後、翌年以降にはあのコロナ禍により開催が幾度となく延期されておりました。第39回の総会開催にあたっては、富良野市長様はじめ関係諸氏の方々のご努力と、東京ふらの会会長、副会長始め幹事一同が総力をあげて開催にこぎつけたのでした。東京ふらの会の先輩諸氏が築き上げてきた、富良野沿線市町村をふるさととする、会員のための、第39回総会、懇親会の開催場所は、東京都新宿、いつものクルーズクルーズ新宿の後継店、ベニーレベニーレ新宿で無事開催できたのです。第39回総会は、5年ぶりに会うことになる懐かしい顔、元気な仲間がそろい、いつにも増して、お互いの元気、健勝さを確認しつつ、遠いふるさと、故郷の富良野を偲ぶ、楽しいふるさと会でした。また、富良野沿線市町村代表の方々が、おのおのの市町村が発展していること、現状、このような取り組みをやっていて、将来的にこのように発展していく等との話をされ、ふるさと富良野の沿線市町村の元気さにも触れられ、参加者一同、うれしさをかみしめ、元気づけられ、納得し、本当に楽しいふるさと会のひと時を過ごすことができたのです。この楽しく元気づけられるふるさと会であったことに加え、今回の参加者も富良野沿線各市町村からの、お土産、それも本当に大きなお土産を手にすることができ、また、次回の総会で再会できるよう、お互い元気で健勝と活躍を誓い合ったのでした。



次回の、第40回総会は、2026年11月17日、千代田区大手町にあります、KKRホテル東京（国家公務員共済会館）で開催する予定です。前回以上に大勢の会員の仲間が楽しく参加できるように、幹事一同、頑張ってまいります。

最後になりましたが、東京ふらの会は、2026年今年度から北海道ふるさと会連合会に参加いたしました。新参者ではありますが、どうぞよろしくお願いします。

未来へつなぐ浦幌の挑戦

東京十勝浦幌会　会長　山田清志



この一年の浦幌町は、豊かな自然や地域資源を生かした新たな挑戦が大きく前進した一年となりました。

その象徴的な出来事が、令和8年（2026年）4月24日に十勝管内の自治体として初めて「オーガニックビレッジ宣言」を行ったことです。有機農業を地域ぐるみで推進し、生産から加工、流通、消費まで一体となった持続可能なまちづくりを進める決意を内外に示しました。豊かな自然環境を次世代へ引き継ぎ、安全・安心な農産物の生産を通じて地域の魅力を高める取組として、大きな期待が寄せられています。

こうした取組を象徴するものとして注目されているのが、町内で進められているオーガニックビールづくりです。浦幌町産の有機栽培大麦を原料に、栽培から製麦、醸造まで一貫して取り組む「RIKKA」は、地域の生産者や関係者が力を合わせて生み出した新たな特産品です。環境に配慮したものづくりと地域資源の活用を両立した取組として高い評価を受けており、イベントや物産展などを通じて浦幌町の魅力を発信する「地域の顔」として期待が高まっています。

また、浦幌町では「うらほろスタイル」の理念のもと、子どもたちがふるさとに誇りを持ち、それぞれの夢や目標に向かって成長できる教育や地域づくりを進めています。農業や酪農、林業などの基幹産業を支える人々の努力とともに、地域資源を生かした様々な挑戦が着実に実を結び、持続可能なまちづくりへの歩みが続いています。



有機栽培大麦を生産する仲間

東京十勝浦幌会においても、総会・懇親会を開催し、首都圏で活躍する会員相互の親睦を深めるとともに、ふるさとの近況について語り合う貴重な機会となりました。これからも東京十勝浦幌会は、ふるさと浦幌町とのつながりを大切にし、その魅力と発展を応援してまいります。

広尾町ゆかりの山岳画家〝坂本直行〟

東京広尾会　副会長　山本耕治



坂本直行氏（1906―1982）の生誕120年記念「坂本直行特別展」を広尾町海洋博物館で開催すると聞き、1964年頃豊似橋の上で日高山脈をスケッチをする坂本〝チョッコウ〟（〝ナオユキ〟）さんに出会ったことを思い出した。

直行氏は、十勝の銘菓店「六花亭」の山野草を描いた素朴な包装紙で有名であるが、実は広尾村に入植し、開拓民としての日々を過ごした広尾町ゆかりの山岳画家でもある。

高知県から北海道開墾のために入植した坂本直寛氏の孫で、坂本龍馬の血縁にあたる。

釧路の生まれ。北大生時代は道内の山々を歩き、十勝からの日高山脈にあこがれて行く。卒業後1930年北大の同期生に誘われ広尾村紋別に移住する。そこから見た楽古岳など日高の山々にさらに強く惹かれ、ついに1935年広尾村下野塚に原野を購入し開拓民として入植する。この地で「自然の中で生きることこそ絵を描くものの生きる道」との考えから、開拓民と画家との両立を図っていく。その後1960年に離農し、1965年札幌に移住する。広尾町での35年間は、冷害、借金、七人の子育て、絵のスケッチと多忙で重労働の厳しい日々だった。この生活体験が坂本直行の画家としての原点となる。

こうした環境下で描き続けた絵は、〝北海道の自然を描く画家、十勝の空気をそのまま描く画家〟、〝自然への敬意と開拓民としての生活感が宿る絵〟と評されている。

高知県のHPで見つけた坂本直行氏に関する記述に、生活の苦しい一端を詠んだ「正月や火の車も一休み」、2006年高知県立坂本龍馬記念館で「反骨の農民画家坂本直行展」開催とあった。展示年が生誕100年なので、とても意義深かった。「原野から見た山」（エッセイ本）や絵を思い出しながら、あらためて郷土の誇りとリスペクトしている。



坂本直行作
『冬の楽古岳』
広尾町海洋博物館所蔵

坂本直行氏の作品が見られる施設として、他に中札内村の「六花の森坂本直行記念館」があります。是非訪れてみてください。

幕別町忠類「丸山」の埋蔵金伝説

東京幕別会　名誉会長　勝山昌



広大な農地や美しい景観に恵まれた幕別町には、実は人々のロマンをかき立てる不思議な伝説が残されています。

現在の幕別町は、平成18年に旧忠類村と合併して誕生しました。その旧忠類村のシンボルとして親しまれているのが、市街地の北側にそびえる「丸山」です。正式名称は「チョマナイ」。アイヌ語で「魔の山」を意味すると伝えられ、古くから神秘的な雰囲気を漂わせる特別な場所として知られてきました。

この丸山には、なんと「埋蔵金伝説」が語り継がれています。幕末の北海道で活動していた海賊船「鬼雷丸」が、松前藩の追跡を逃れるために財宝を山中へ隠したというのです。その後、鬼雷丸は襟裳岬沖で難破したため、財宝の行方は謎に包まれたままとなりました。大正時代には、生き残りの子孫がその秘密を明かしたとも伝えられ、伝説はいっそう注目を集めることになりました。

この夢あふれる話に魅せられた人々は、幾度となく宝探しに挑戦しました。昭和10～11年には十勝郷土史研究会が発掘調査を行い、その後も調査が続けられました。続いて昭和30年代にも行われたがこれも失敗でした。

昭和50年には地元の木材業者と不動産業者が金属探知機を使用して調査しました。その結果、丸山の東側中腹に「時価100億円の砂金が鹿革に包まれ、木箱80箱に詰められ地下11mに眠っている」と予言しました。ダンプ2400台分の土砂を掘り起こしましたが結局見つかることはありませんでした。伝説は今もなお謎のままです。

旧忠類村は、ナウマンゾウの化石骨がほぼ1頭分発掘されていることでも有名です。太古のロマンと埋蔵金伝説が同居するこの地には、まだ誰も知らない発見が眠っているかもしれません。



丸山展望台　案内板

ここには全てある
～標津ホームタウンバンドが生まれた日～

東京標津会　中寺貴史



「ここには全てある山も海も。標津・標津・標津」私が作った標津町ふるさとソングのサビのフレーズです。この歌は、毎年、標津会総会で歌わせてもらっています。総会の余興として結成した、標津ホームタウンバンドは、この曲を歌うために年に一度結成して、ほぼ、ぶっつけ本番で披露しています。

私は学生時代にバンド活動をしていた時期がありましたが、社会人になってからは、音楽やりたいなと思いながらも、30年間、音楽とは疎遠となってきました。ある年の標津会総会の余興を考えている場でした。80歳を超える標津会のYさんが、習っている先生と一緒に俺がギターを弾くといい出しました。それを聞いて、私の音楽魂に火がつきました。標津のふるさとソングを作ろう、と。Yさんのギターの先生に連絡し、自分がふるさとソングを作りたいこと、それを総会で披露したいことを伝え快諾をいただきました。標津ホームタウンバンドが結成された瞬間です。その年から毎年、総会の場でふるさとソングを披露させていただいています。

ふるさと会は、同じふるさとを思う仲間が集う居場所です。私もたくさんの素敵な出会いがありました。しかし、それだけではなく、人生でやりたかったことを叶える場所にもなるのだ、と標津ホームタウンバンドを通して学びました。30年動かなかった、音楽をやりたいという思いが、標津会という居場所から動き出しました。年に一度のぶっつけ本番だけではなく、これからは少しずつ活動を広げて、標津町への凱旋という夢を叶えたいと考えています。

標津会は、この10年で少しずつ、進化してきました。町を応援したい、ふるさとを持ちたい、という仲間も加わってくれました。今は、標津町を応援したい、町に役に立ち還元したい、という思いを持って活動しています。ふるさと会は同じふるさとを持つ仲間の大切な居場所です。その居場所をずっと守り続けるために、標津会は進化してきました。「ここには全てある」人も夢も、標津会」素敵な居場所に出会えたことを感謝しています。

Moooo café NAKASHIBETSU
（モーカフェ ナカシベツ）

東京中標津会　渡邉豊



横浜観光の中心地、山下町。中華街や山下公園からもほど近いエリアに、中標津町公認アンテナショップ「Moooo café NAKASHIBETSU（モーカフェ ナカシベツ）」が誕生しました。

2月25日（水）に、オープニングセレモニーが開催され、（店舗運営）ランドプラス株式会社矢崎代表、他、関係者の方々。中標津町からは、西村町長、後藤議長、東京中標津会メンバー他、沢山の方々が出席しました。

中標津の「食」を伝える為、地域・生産者・都市・世界をつなぐ拠点となることを目指します。お店は横浜、みなとみらい線の、日本大通り駅、元町・中華街駅からも近く、絶好のロケーション。店舗を外から見ると「北海道中標津町公認アンテナショップ」の文字が。店内は中標津グッズで満たされており、開陽台ポスター（夏・冬）、牛乳で乾杯ポスターなどなど、「中標津愛」がお店全体に溢れておりました。

①販売コーナー

中標津牛乳、養老牛放牧牛乳、標津羊羹、ラ・レトリ乳製品、ポルテチーズケーキ、竹下牧場チーズ、万両屋パン、中標津産の各種乳製品、グルメたち。

②カフェコーナー

AFクラブ「ミルクパスタ」、「アメリカンクラブハウスサンド」、「至福の濃厚チーズケーキ」、竹下牧場「クレームダンジュ」、「ぷるっぷる♪ミルクスイーツ」、中標津農協「ソフトクリーム」、中標津産の牛乳・素材を使った、お料理・スィーツ・ドリンクも充実してます。

③体験メニュー

「手作りモッツァレラチーズ体験」や「手作りバター体験」、子供から大人まで、牛乳が製品になる過程を楽しみながら学べる、まさに「体験型」アンテナショップなのです。

7月から、夜の営業を拡大し、お酒やおつまみメニューを加えて、ますますパワーアップして行きます。

店舗情報：Moooo café NAKASHIBETSU
（モーカフェ ナカシベツ）
〒231-0023 神奈川県横浜市
中区山下町74-6 ロクマルビル1階
Tel 045-900-4995
営業時間 10：30～22：30
定休日 毎週木曜日



モーカフェ ナカシベツ

創立30周年記念植樹を行って

東京・別海ふるさと会　会長　臼井洋二

東京・別海ふるさと会は、2026年2月で創立満30周年を迎えました。

これを記念して、2026年6月2日から4日まで、役員11人で別海町を訪問し、記念植樹を行いました。

今回は、「エゾヤマザクラ」を、べつかい乳業興社の隣、ふるさとの森の一角に植樹させていただきました。

当日は、6月とはいえ、まだ肌寒い中、森林組合の方々に苗木と道具を用意していただきました。森林組合の方の指導を受けて、参加者全員で土を掘り、苗木を植えました。今回は、森林組合の方々の配慮で、小さな苗木では育つ過程で枯れてしまう確率が高いことから、2メートル程に育った苗木を用意していただきました。



実は、今回で記念植樹は2回目になります。2006年6月に、創立10周年を記念して町の木である「楢の木」を植樹しました。今回記念植樹を行うに当たり、10周年の時の記念植樹の場所について別海町商工観光課の職員の方に確認してもらいましたが、当時設置した看板が見当たらず、何度も現地に足を運んでもらい、確認してもらいました。そのお陰で、今回参加者で現地を確認したところ、当時植樹に参加した会員もいて、間違いなくその場所であり、りっぱに育っているみず楢の木を確認することができました。

そんなこともあり、記念の看板を立てるに当たり、永くふるさと会の記念となるよう金属製の丈夫なものを用意しました。最後に参加者全員で記念写真を撮り、この記念のエゾヤマザクラが毎年満開の花を咲かせ、ふるさとの森を訪れる人々の眼を楽しませてくれることを願い、ふるさと会と同様末永くふるさと別海に根付くよう祈りました。



エゾヤマザクラの風景　植樹



看板を前に全員で記念写真

知床羅臼の伝説　熊越の滝由来

東京らうす会　太田利雄



知床羅臼には観音岩や義経の尻もち岩等、いろいろな伝説がある中から「熊越の滝」について紹介いたします。

昔々、木の葉が色付き間もなく知床に厳しい冬を迎えようとしていた頃、子熊を連れた母熊が羅臼川上流で滝つぼを覗いたりしてウロウロとしていた。冬を越すためには出来るだけ栄養をつけておかなければならないので、母熊が滝つぼを覗いていたのは鮭を捕まえるためであった。

その時、通りかかった猟師がいた。猟師は木陰に隠れ様子を見ていたところ、母熊は滝つぼにいる鮭を捕まえるために飛び込み、見事、捕まえて子熊に与えた。母熊は何度も飛び込んで鮭を捕まえて子熊と一緒に食べ、やがて満腹になった母子はねぐらに帰るためか、母熊は滝の上流で横切って向こう側に渡ってしまった。後を追っていた子熊は母親の真似をして渡ろうとするが、滝の勢いが強くて流されそうになる。何度も挑戦するがその都度失敗する。これを見ていた母熊も成す術が無く只、オロオロして大きな唸り声を掛けるだけであった。子熊は母熊の側に行きたい一心で、流れの途中の岩まで渡るのがやっとで、それ以上は進めないで唸り声を出しているだけであった。

この様子を木陰で窺っていた猟師は子熊を助けるために流れに入り駆けつけ、子熊の尻と腰を力いっぱい押し上げて向こう側へ無事に渡らせた。子熊は何事もなく母熊の元へ駆け寄って行った。母熊は無事に子熊が戻ってきた事に喜び、子熊を助けてくれた猟師に向かって何度も何度も首を振って感謝の気持ちを表して子熊を連れ山中に姿を消した。

これ以来猟師が子熊を助けたこの滝を「熊越の滝」と名付けられた。又、この事があって以後、知床羅臼に住んでいる熊は人を襲わなくなったと言われている。但し、手負いの熊はこの限るではない。

「羅臼町百年史」より。



連合会ＯＢ会だより

ＯＢ会　世話役代表　森　隆信（東京遠別会　顧問）

連合会の役員ＯＢ会は北海道ふるさと会連合会の役員を務め、退任した同志が集いわが故郷を愛し、誇りを持って活動してくれている現役員皆さんへの感謝と応援の気持ちを込めて設立した「親睦交流会」であり役員を退任された方をお迎えする体制で活動を進めています。当然連合会本部も頂いています。

私達は現役を離れ、高齢化の集団なので、決して無理な活動はできません。

現役役員では楽しくもあり辛い経験をした者同士なので、当時を懐かしく語り、伝えることも無駄ではありません。それ故各ふるさと会の皆様には是非とも連合会の役員を体験して退任後はＯＢ会会員としてお迎えすることにしています。

昨年からは春・秋の年2回会場と内容は代わりますが運営世話役で確認して、会員皆さんの参加希望を募り、連合会本部の三役の皆さんにもお知らせし、その席で運営活動を進めています。

今回は昨年秋と今年春の2回開催しましたのでご報告いたします。

昨年秋の親睦会開催情報

２０２５令和７年11月５日（水）「札幌ビール恵比寿ガーデンプレイス38階のレストランでの会食と懇談会」その後に「サッポロエビスビール館」に移動して〝エビスビールの誕生展示の見学会〟を行いました。

私たち役員時代には恵比寿本社の各会場を様々な行事で使用させて頂いただけでなく毎年サッポロビール祭りとして千葉工場へ連合会専用バスを木更津駅から工場まで案内されサッポロ生ビールを存分に美味しい飲み方までも教授され大満足した行事が続きました。

サッポロビール社には連合会活動に大きな力を与えて戴き現在も協賛企業としてお世話になっており当時の連合会担当者にはこのＯＢ会会員として2名の方に参加して頂いていることもお知らせします。

今回はＯＢ会会員18名連合会三役４名の計22名の出席で有意義な親睦交流会となりサッポロビール社の現担当者柿崎主任には特別案内役をお願いし参加して頂きました。

本年春の親睦会開催情報

２０２６年（令和８年）５月23日（土）「松尾ジンギスカン赤坂店」で〝美味しいジンギスカンを食しながらの交流・懇談会〟であり、昨年春に続いて、連合会本部の行事にＯＢ会の親睦交流会が合流して開催しました。

ジンギスカンはマトンやラムなどの羊肉を用いた日本の焼肉料理で松尾ジンギスカンが東京のど真ん中・銀座４丁目に店舗を開き、連合会は北海道からの進出であり、応援して現在は銀座の他赤坂・新宿と店舗でジンギスカン人気を迎えており、赤坂店は連合会の会議場所を兼ねて利用するようになりました。今回は合流会でしたがＯＢ会会員は12名の出席でした。



懇親会とエビスビール誕生の見学



ジンギスカン会食

疎　遠　～75年も疎遠した友に感謝～

ＯＢ会　世話役　鈴木武昌（東京美深会　元会長）

小学校卒業から75年も疎遠だった水谷君が先月亡くなり、その息子さんが水谷君の投稿中の人に会いたいと訪れた。

転記載文、「蛍雪の友」「少年時代のニックネームは武さん。なんという懐かしい名前だろう。転校してきた俺は隣の要領の悪い奴の側にいた。さらに面白いことはそいつが委員長だそうだ。この組は味なことをやると思った。出来の悪い奴に委員長させるとは実に愉快だと思った。

あれは5年生の冬休み前、写生用の柿の裏をかじった者がいた。その時の担任は顔に青筋を立てながら、この柿をかじったやつは出てこい！と全員を立たせ睨みつけた。重苦しい空気が張り詰めた。その時だ、僕ですと先生の前に武さんが出た。お前か！と言いながら顔を殴られ雪の降る外に武さんは立たされた。昼休み、雪で頭が真っ白になった武さんに、抱きついて泣いた奴がいた。その子は、樺太からの引揚者で誰からも相手にされない少年だった。もう二度と悪い事はしないから許してくれ。という少年に、武さんは笑って涙をふいてやり、いんだよ、俺達は兄弟じゃないかといった。その一言で少年は生まれ変わった。武さんは不思議な性格だった。どんな時も言い訳や愚痴は言わず、どんな相手や仲間にも威張ったり軽蔑したりしなかった。喧嘩の強い小原も勉強のできた小林も、美人の角森もみんな武さんの回りに集まった。武さんがいると安心できた。武さんと同じ組にいる事が誇りに思えた。やがて武さんは、中学校でも高校でも生徒会長を務めたと聞いた。寒く深い雪国で暖かい心を伝えてくれた武さんは俺たちの少年時代の思い出の中に、必ず出てくる一人だ。武さん、この名を口にする度に胸熱く少年時代のふるさとを思い出す。」

75年も疎遠した友に感謝。

ふるさと標津への想い

OB会会員　水田栄子（東京標津会）

私は故郷標津が大好きです。この思いは年を重ねるごとにますます深くなっているように感じます。

幼い頃は鮭の番屋で遊び、家の食卓には毎日のように塩鮭やメフンが並んでいました。それだけではなく、トバや焼いた塩振りキモをおやつ代わりに食べていた、そんな懐かしい思い出があります。

私の実家は3方を川に囲まれ、裏手には孵化場がありました。そこも私にとって大切な遊び場でした。川に設けられた囲いの中を泳ぐ鮭を眺めたり、産卵した卵をパットに移し、鳥の羽根で優しく白子を混ぜる作業を見ながら、おしゃべりをする時間が大好きでした。

そんな環境で育った私は、今でも「標津の鮭は世界一」と心から信じています。その想いから、代々木公園で開かれる北海道産直フェアでは鮭製品を中心に標津町を紹介し、東京では珍しかったメフンも10年ほどかけて多くの方に親しまれるようになりました。また、新巻鮭を毎年の総会で1本ずつお土産としてお渡しし、長年にわたり標津の味を楽しんでいただくことができました。しかし近年は、温暖化の影響もあり、「漁獲高日本一」と言われた鮭が思うように獲れなくなりました。定置網業を離れる方もいると聞き、寂しい気持ちになることもあります。



そんな中、先日久しぶりに標津町へ帰り、多くの皆さんとお話する機会がありました。漁業は厳しい状況が続いているものの、町にはさまざまな分野で頑張る若い人たちの姿があり、その一生懸命な姿に大きな希望を感じました。

私自身も何人かの若い方々と交流し、標津町には未来へ向かう力がしっかりと育っていることを実感しました。

これからも私の大好きなふるさと標津が、多くの人に愛され、さらに温かく、さらに元気な町として発展していくことを心から願っています。そんな希望を胸にわたしは東京へ戻ってきました。

函館をふるさととと言える今

OB会会員　三村寿雄（北海道道南会相談役）

故郷とは生誕の地、幼少期を過ごした地、自分には判断でき兼ねていました。と言うのも私の父は満鉄の病院勤務で自分が生まれたのは1943年6月13日満州国で満州国特命全権大使が出生受理者です。

1945年2歳のとき引き上げて舞鶴～鳥取県～三重県と移り住み1949年父がシベリアの抑留から最後の帰還兵として戻り三重県に在住、1950年三重県津市高茶谷小学校入学しましたが4月末には父の勤務先が厚生省の横浜検疫所となり横浜に転居、横浜市立日進小学校へ転校1954年父の小樽検疫所への転勤で小樽市緑小学校へ転校、1955年父の釧路検疫所転勤で釧路私立日進小学校転校、1956年釧路市立春採中学校入学、1957年父の函館検疫所への転勤で函館市立船見中学校へ転校、1960年函館西高等学校入学、1963年卒業、中学高校と物心つく青春期を北海道で過ごしました。1963年東京の大学へ上京卒業後、就職も東京、1988年函館での高校同期会参加をきっかけに1989年東京での高校同窓会参加、1996年、北海道道南会の存在を知り、「北海道道南会」へ入会、中学の同級生5名との出会い今でも年2回の旅行等楽しんでいます。当時立川に在住していて「国立どさんこ会」にも入会し1998年より連合会への事業部会理事として参加し、2013年から「北海道道南会」より総務部会理事とし参加、2016年には総務部会副会長にも任命され振り返れば20年間連合会の役員とし北海道道産子の仲間入り出来、楽しい日々を送らせて頂きました。函館での中学・高校青春期を忘れる事が出来ず函館が自分のふるさとと言える今になっています。

2023年12月食道癌が見つかり2024年1月8日より抗癌剤治療、1ヶ月半ごとの一週間の入院抗癌剤点滴治療を8月まで繰り返し2025年2月再発を確認、現在は3週間ごとの通院点滴治療となっています。連合会OB会の1員、道南会相談役、函館観光大使、高校同窓会の顧問等まだまだふるさと函館、北海道を忘れることなく過ごして行きます。

税理士法人　すずらん
代表社員
公認会計士
税　理　士　林　敦
白三会（苫小牧東高）東京支部事務局
〒166-0002
東京都杉並区高円寺北一丁目17番5号
TEL 03-5318-9707　FAX 03-5343-7890
Email : zeirishi-suzuran@pure.ocn.ne.jp

OB会は若さを取り戻し 更に発揮する会です

OB会会員　金曽裕一

第30回北海道フェアーは昨年以上の大盛会で閉幕しました。

皆様お疲れ様でした。私たちの連合会の飛躍の兆しを感じる産直でした。

ところで連合会理事年齢は推定ですが72～78歳位かな？

OB会は80歳以上で90歳以上も数名おり猛者揃いです。

事務局や事業部会はじめ他の部会の協力が大前提の提案ですがOB会ならこんな活動も可能ではないかと羅列してみました。即出来るものとかなり難しいものがあると思いますがこれから皆様との合意ができるものから始められたらと思いますがいかがですか

記

① 連合会公式行事　受付配布案内誘導等の補助（理事会要請あれば）
② 研修　加盟協賛企業工場見学（既に実施開始しています）
③ 挑戦　高齢者向け簡単スマホ操作講習会（無料、会場決定次第実施）
④ 学習　観光、道案内、おもてなし簡単英会話講習会（無料、会場未定）
⑤ 趣味　書道絵画手習い教室（会場料金講師未定）
⑥ 皆で食事会　年に数回平日昼食ツアー（郷土料理2千円以内）
⑦ 見学ツアー　国会閉会中2時間程度の国会内見学（無料）
⑧ 気晴らしツアー　寄席落語を聞く会（無料～1000円都内浅草他）

これ以外にも皆様からのご提案をお待ちします。事務局へご連絡下さい。

近い将来必ず〔百歳元気〕時代が来ます。その先に平均年齢が100歳に。

それを実現するには今から健康の持続可能を目標にして仲間と共に元気にお互いを認め合い楽しい活動ができれば実現に近づくと思います。

そのため連合会OB会の今後の活動は極めて意義深いものになります。

在宅の毎日では運動不足で老化を早めます。元気を出して外に出てOB会に参加して皆で話し会い楽しめる行動を始めませんか。

皆様のご意見お聞かせください（連絡先　連合会事務局）。

※投稿者略歴

金曽裕一　札幌生　1942年満州移住
⬇敗戦後1946年親子3人博多帰国
札幌市苗穂町食品会社工場勤務⬇東京転勤⬇海外駐在⬇退職
現在公益社団法人シルバー人材センター勤務中
2018年東京札幌会会長⬇連合会広報部会長⬇同総務部会長⬇連合会副会長
現在　連合会相談役　HP委員アドバイザー　連合会OB会会員



実現させたい 夢がある　津軽海峡に新たな青函トンネルを

第2青函トンネル構想を実現する会

会員募集中

第2青函トンネルに期待すること

1. **新幹線本来の高速走行の実現**
2. **オール北海道の振興及び経済の底上げ**
3. **交流人口及び関係人口の拡大**

入会申込みはコチラ

第2青函トンネル構想を実現する会
会長　　鳴海清春 福島町長
事務局　福島町役場企画課　電話 0139-47-3007

ふるさと応援団 北海道福島会
北海道福島町

雪印メグミルク

おかげさまで70周年!

70th ANNIVERSARY SINCE 1956

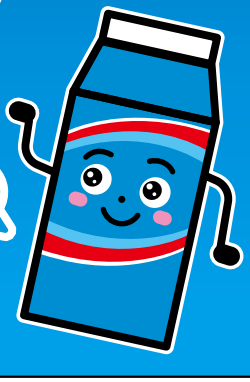
The taste has been loved in Hokkaido.

雪印ソフトカツゲン



70歳だって!すごいね「カツゲン」!

なんも なんも





特別なお仲間と洗練された上質なひとときを

BANQUET 宴会・会議　ACCOMMODATION 宿　泊　RESTAURANT レストラン

アルカディア市ヶ谷
私学会館
https://www.arcadia-jp.org

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分

宴会予約直通ダイヤル 03-6685-0540

宿泊予約直通ダイヤル 03-6685-0541

〒102-0073　東京都千代田区九段北4-2-25



ようこそ 美しき唄のまち へ

○美唄市章



市内に点在する沼に多く生息したカラス貝とびばいの「ひ」を組み合わせて図案化し、色は黒ダイヤ『石炭』をあらわしています。

美唄市条例市徽章制定 より

○美唄シティープロモーション事業

令和4年に市内の10～30代の市民を中心に委員会を立ち上げ、１年かけて作ったシンボルマークです。市ポスターや商品ロゴなど、行政と民間の様々な場所で、美唄の盛り上げ役として使用されいます。

○美唄市の花・木・鳥



花：ツツジ　木：ポプラ　鳥：マガン

○美唄



面積　277.69平方キロメートル
北緯　43度33分　　※市役所所在地
東経　141度85分

美唄市は札幌と旭川のほぼ中間に位置する田園都市です。農業が基幹産業で、米、小麦、大豆を多く栽培し、アスパラやハスカップが特産です。美唄のすべての水田を集めると、山手線の内側よりも大きくなります。

近年は、北部のゴルフ場で冬季に開設する「Alpen SNOWLAND BIBAI」が人気で、インバウンド客が約3.5万人来場したほか、美唄焼き鳥や郷土料理「とりめし」店も堅調、新規のカフェも増えています。

令和5年に富良野市までつながる道路「道道135号」が開通し、市の歴史で初めて東側から人流が生まれ、東部の炭鉱遺産や桜の東明公園、温泉施設などが再注目されています。



宮島沼のマガン



安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄



アスパラガス



ピパの湯 ゆ～りん館 露天風呂



三菱美唄炭鉱竪坑櫓



美唄焼き鳥

美唄市公式サイト　　美唄市LINE　　美唄市Facebook　　経済観光

問い合わせ　北海道 美唄市 経済部 経済観光課　〒072-8660 北海道美唄市西3条南1丁目1-1
電話　0126-63-0112　Eメール：kouryu@city.bibai.lg.jp

会報第44号制作編集スタッフ

秋山　憲一（東京ふるさと新得会）広報部長
宮高　　隆（東京登別げんきかい）
勢籏加代子（東京ふるさと北見会）
臼井　洋二（東京・別海ふるさと会）
熊谷　　譲（東京木古内会）
藤井　俊文（東京中標津会）
山村　正広（東京あしょろ会）
奥山　範夫（東京恵庭会）
　　連合会事務局　後方支援
森　恵理子（北海道福島会）
　　連合会事務局　後方支援
山中　茂樹（東京札幌会）ＷＥＢ制作
㈱双文社　印刷



編集後記

AI時代に人間に求められるもの。

問を立てる力、未来を構想する意志、責任を引き受ける覚悟、そして信頼を築く力である。人間には意志の力が求められている、とあった。（2026年9月10日経）

今回も多数の投稿をいただきました。夫々が力を与えてくれる、意志を強くしてくれる記事と思われ、感謝いたします。

おっとするおいしさ。北海道からおとどけします。



北海道各産地自慢のこだわり
農産・海産加工品
北海道ならではの
肉加工品
人気の
北海道スウィーツ
全道から種類も豊富な
牛乳・チーズ
評判のこだわり
ワイン・日本酒
さわやかな味わい
ソフトクリーム
ほかにも、おいしい
北海道が豊富です。

北海道どさんこプラザ Hokkaido Dosanko Plaza
東京交通会館1階
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2丁目10番1号
（JR山手線有楽町駅1分、東京メトロ有楽町線有楽町駅3分）
TEL.（03）5224-3800　FAX.（03）3217-0411
■営業時間/午前10時～午後8時　年中無休（年末年始を除く）

SAPPORO 150th Anniversary
2026年、サッポロビールは
おかげさまで創業150周年を迎えます



ストップ！20歳未満飲酒・飲酒運転。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。
お酒は楽しく適量で。のんだあとはリサイクル。
サッポロビール株式会社
www.sapporobeer.jp